福井県英語研究会事務局

事務局長　**西　口　佳　光**（武生高校）

１．第１回役員会

令和３年５月１１日（火）、福井県国際交流会館で令和２年度会計監査および令和３年度第１回役員会を開催し、総会に提案すべき議事を審議しました。

２．総会・講演会

令和３年６月１１日（金）、ユーアイふくい多目的ホールで福井県英語研究会総会および講演会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演会を中止、また総会につきましては書面議決による採決を行いました。全ての議案が承認を得ました。

本会発展のために永年貢献いただいた、田中宏明先生（前会長・武生高校校長）、窪田乃里子先生（元放送テスト部部長･教育庁義務教育課）には事務局より感謝状を送付させていただきました。

３．会員名簿発行

令和３年７月、令和３年度会員名簿を発行しました。平成２２年度から会員名簿作成業務を広報部にお願いしており、平成２８年度より小学校の英語活動担当者も掲載しています。年度当初の大変慌しい時期に御尽力頂いた島田広報部長をはじめ、広報部には深く感謝申し上げます。

４．福井県英語教育研究大会

令和３年１１月５日（金）若狭高等学校で予定されておりました本大会も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインでの実施となりました。若狭高校、本田涼哉教諭による公開授業動画を YouTube で事前に視聴し、当日は Zoom を通じて研究協議会を行いました。約５０名の参加者があり、質疑応答の後、京都大学特任教授　田中容子氏からご高評とご講演を賜りました。

５.全英連大会

令和３年１１月１９日（金）２０日（土）、第７１回全国英語教育研究大会（全英連山形大会）は、「Explore! 未来を切り拓く英語教育の推進～自ら学び仲間と高め合う授業の創造～」をコンセプトに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで開催されました。１日目は上智大学名誉教授　吉田研作氏の記念講演、その後小中高の授業者発表が行われ、２日目は２５の分科会が開催されました。

６.全英連東海北陸地区英語教育協議会

令和３年１２月７日（火）に津市で開催、福井・石川・富山・愛知・岐阜・静岡・三重の７県から各代表が参加し、全英連山形大会全国理事会の報告、令和４年度の諸行事について協議しました。浅井裕規会長が出席しました。

７．第４０回岩崎賞選考委員会

本年度は応募がなく、実施されませんでした。

８．第２回役員会

令和４年２月１０日（木）、オンラインで第２回役員会を開催し、令和３年度事業･決算中間報告、令和４年度事業計画等について審議しました。

県中教研英語部会

事務局長　**久　保　絵　理**（福井市灯明寺中学校）

今年度も昨年度と同様のコロナ禍となり、集会・行事等が中止・縮小される中、各ブロックが工夫を凝らし、今年度本県で行われる予定であった令和３年度東海北陸公立中学校英語教育研究大会福井大会に向け、準備を進めてきました。しかし、残念ながら今大会は大会誌の発刊という形に変えさせていただきました。大会誌の発刊にあたっては、実行委員会を立ち上げ、３つのブロックで発表予定であった研究を中心に大会誌を作成し、県内の中学校、関係機関、また、県外の各県・ブロックに配布しました。

さらに今年度は、新教科書に対応するため、各ブロックや各市、各学校で研究会を多くもち、教材研究や評価について取り組んできました。本年度の県中教研英語部会の活動の概要は以下の通りです。

１　４月２８日（水）　第１回県中教研英語部会郡市部長会（福井県生活学習館）

・令和２年度事業報告ならびに令和３年度事業計画について
・令和３年度福井県中学校教育研究集会について
・令和３年度東海北陸公立学校英語教育研究会福井大会について
・中学校英語セミナー、英検について、各ブロック間の情報交換

２　８月１０日（木）　令和３年度福井県中学校教育研究集会（オンライン開催）

・発表者　　教諭　竹澤　沙貴（福井市至民中学校）
　　教諭　宇原　弘晃（南越前町立南条中学校）
　　教諭　北野　広樹（敦賀市立粟野中学校）

３　１１月　東海北陸公立学校英語教育研究会福井大会大会誌発刊

・実践研究Ⅰ　教諭　竹澤　沙貴（福井市至民中学校）
　実践研究Ⅱ　教諭　宇原　弘晃（南越前町立南条中学校）
　実践研究Ⅲ　教諭　北野　広樹（敦賀市立粟野中学校）
・大会に寄せて　「新学習指導要領の学びを実現するために」
　～教科書を活用した英語の授業づくり～
　文教大学国際学部　教授　阿野　幸一　先生

４　２月２日（水）　第２回県中教研英語部会郡市部長会（福井県教育センター）

・令和３年度事業報告
・令和４年度事業計画について
・令和４年度研究主題の確認
・令和３年度東海北陸公立学校英語教育研究会福井大会についての報告
・令和４年度県英語研究会若狭地区発表について
・各ブロック間の情報交換

５　その他

・７・８月　各ブロック中学校英語セミナー中止
・１１月１９日（金）・２０日（土）　全英連山形大会（オンライン開催）

令和３年度中教研部会郡市部長名及び活動報告

部	部長名	活　動　内　容
福井市部	田中　佳之 （清水中）	福井地区中学校教育研究会英語部会の活動は、今年度も新型コロナウイルスの影響を受けることとなりました。７月開催予定であった中学生英語セミナー、８月開催予定であった東海北陸公立学校英語教育研究会が中止となりました。 東海北陸公立学校英語教育研究会に向けては、福井市の至民中学校が発表の準備をしてきましたので、研究冊子にこれまで取り組んできた内容を掲載しました。誌上発表という形になりましたが、東海北陸各県の英語教育界に少しでも役に立つものになれば幸いです。 【令和３年度活動報告】 4月　第１回中教研福井ブロック英語科主任会　　書面決裁 6/10　前期福井ブロック授業研究会（至民中） 6/30　福井ブロック中学校教育研究集会 至民中発表 8/10　福井県中学校教育研究集会 至民中発表 11月　「東海北陸公立学校英語教育研究会」研究冊子発行 至民中実践記録掲載 11/25　後期福井ブロック授業研究会（大東中） 2月　第２回中教研福井ブロック英語科主任会（清水中）
吉田郡部	南部　和子 （上志比中）	今年はコロナの状況も落ち着き、小中や中中間で授業参観をして意見や情報を交換することができた。特別に行事を行うということはなかったが、今年度は新学習指導要領が全面実施となり、年間指導計画やデジタル教科書などについて情報を共有したり、日頃から様々なことでお互いに連絡を取り合ったりして、３中学校が協力して活動に取り組むことができた。
坂井ブロック（あわら市・坂井市）	西　　健 （坂井中）	今年度も「自分の考えや気持ちを伝え合う生徒の育成」という研究テーマにそって、各学校で授業実践を行った。しかしながら、コロナウイルス感染拡大防止のため、英語セミナーと特別研究会を中止とした。 新学習指導要領全面実施に向けて、昨年度後半から、授業改善、評価のあり方、年間指導計画の作成等に関する協議を行ってきた。今年度は、それらの協議をいかして、各校で「指導と評価の一体化」について取り組んだ。現在の評価をよりよいものにしていくために、今後も学校間で情報共有をする中で評価のあり方について研究していく。

部	部長名	活　動　内　容
坂井ブロック（あわら市・坂井市）	西　健 （坂井中）	【主な活動内容】 6月　地区英語セミナー委員会（中止） 7月　地区英語セミナー（中止） 7/28　第１回地区中教研英語部会理事会（春江中学校） 評価のあり方、パフォーマンス評価等 評価に関する研修会（春江中学校） 学習評価の改善について（県教育総合研究所の所員による説明） 英語科主任と所員による協議 8/10　県中学校教育研究集会（オンラインで実施） 11/25　第２回地区中教研英語部会理事会（三国中学校） 評価のあり方、パフォーマンス評価、県教委事業 GTEC の振り返り等 書籍（新３観点の学習評価 完全ガイドブック）も活用 12月　地区特別研究会（中止） 2月　第３回地区中教研英語部会理事会（坂井中学校） 評価のあり方、パフォーマンス評価等
大野市部	広瀬　泰司 （開成中）	研究主題　英語で主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、聞くこと、読むこと、話すこと［やり取り］、話すこと［発表］、書くことなどの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための指導の改善と充実 4/20　第１回大野市学校教育研究会（学びの里「めいりん」） 分科会結成、研究主題および研究計画、当面する課題についての意見交換 5/11　第２回大野市学校教育研究会　分科会長会、分科会予算配分等 （有終西小学校） 6/11　中学校教育課程奥越ブロック集会（勝山南部中学校） 新教科書を用いた授業の進め方についての研究協議 6月　夏季英語セミナー運営研究会（中止） 夏季英語セミナーの企画運営全般についての協議 7月　奥越中学校夏季英語セミナー（中止） 奥越地区の中学校全学年を対象にした英語活動の実施 8/2　第３回大野市学校教育研究会（開成中学校） 新しい教科書についての研修 8/10　県中学校教育課程福井県研究集会（リモート開催） 11/10　大野市学校教育研究会英語部会研究会（開成中学校） 県学力診断テストの結果に基づいた市内中学生の到達度の分析 １学期、２学期　大野高校互見授業（大野高校） 大野高校教員による英語授業の参観と指導方法の協議

部	部長名	活　動　内　容
勝山市部	石倉　玲子 （勝山南部中）	昨年に引き続き、学校間の連携を図りながら、①小学校での学びを生かした指導のあり方の研究②教科書の効果的な活用法（特に発問の工夫）③書くことの力をどう伸ばすか、を重点に、授業改善を進めていく。 （１）勝山市学校教育研究会英語部会年間活動 ６月１１日（金）　奥越ブロック英語部会　於：勝山南部中学校 ・指導と評価についての情報交換 ・デジタル教科書の使い方についての情報交換 ・奥越ブロック夏季英語セミナーについて １２月２８日（火）　勝山市中学校英語部会　於：勝山南部中学校 ・平成５年度の県中教研発表に向けての協議 研究主題の確認、今後の研究の進め方等 ・新指導要領の実施に伴う年間指導計画作成や指導と評価についての意見交換 ２月下旬　勝山市中学校英語部会 ・今年度の振り返りと今後の取り組みについての協議 ・年間指導計画の見直し （２）今後の取り組み 令和５年度県中学校教育研究大会での発表に向けて、研究主題に沿った準備を進める。研究協議に加え、授業研究会を通して、教科書の効果的な活用法や、１年生の指導法などを実践的に研究していきたい。
鯖江市部	吉村　治基 （中央中）	研究テーマ「自分の気持ちや考えを意欲的に伝え合う生徒の育成」のもと研究実践に取り組んだ。実践にあたっては、５領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動を通した、コミュニケーションの資質・能力のバランスのとれた育成をすること、及び、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うことを重視した指導法について重点的に研究を推進した。 また、研究推進の留意事項の主なもの一つとして、学校種間の学びの接続が円滑なものとなるよう、小中連携、中高連携を挙げた。学習指導要領が改訂になったことに伴い、毎年、小学校での学習履歴が異なる新入生を受け入れることから、特に小学校との連携の強化に努めた。 （１）研究実践　市授業研究会　東陽中学校　稲田彩乃教諭　６月18日（金） ３年　Let’s Write 2 コロナ感染防止のため、予定していた公開授業は中止とした。代替措置として、授業を録画し、市内全小中学校に視聴案内をした。また、後日、オンラインで授業研究会、及び情報交換会を行った。

<table>
<tr><th>部</th><th>部長名</th><th>活　動　内　容</th></tr>
<tr><td>鯖江市部</td><td>吉村　治基
（中央中）</td><td>（２）小中連携　小中における授業研究の案内を市内全ての小中学校に送付し、小中の教員が合同で英語指導に関する研究協議を行った。
市授業研究会　豊小学校　奥山　裕美教諭・ALT
１０月２７日（水）
５年　Unit4　He can bake bread well.
（３）丹南ブロック英語セミナー（担当　南越地区）…中止

市内で開催した公開授業２つとも、タブレットのアプリであるロイロノートを活用した授業展開となった。今後、外国語教育における、ICT を活用した一人ひとりのペースに応じた「個別最適な学び」と、子ども同士が対話などを通じて学びあう「協働的な学び」を一体的に充実させる取り組みを一層推進していく必要がある。</td></tr>
<tr><td>丹生郡部</td><td>鳥居　良行
（越前中）</td><td>丹生郡英語研究部会は、郡（越前町）内４校の英語科教員で構成されている。研究テーマ「英語で主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くことなどの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するための指導の改善と充実」のもと、郡内の英語科教員が連携をとりながら研究を進めている。また、中高一貫教育を進める丹生高校や、郡内の小学校とも連携をとりながら研究を行っている。

中高一貫講師・ＡＬＴによる授業

【おもな活動】
４月28日（水）第１回県中教研英語部会郡市部長会議
６月１日（火）第１回丹生郡英語科主任会　※オンラインで実施
・研究テーマ、事業計画について
・今年度の英語部会について（授業研究会、研究集会発表に向けて）
６月30日（水）朝日中学校授業参観
７月６日（火）第２回丹生郡英語科主任会
・朝日中学校授業参観を踏まえての授業研究会
・県中教研集会の発表に向けての研究の進め方について
11月１日（月）織田中学校授業参観
11月16日（火）宮崎中学校授業参観
11月22日（月）朝日中学校授業参観
２月２日（水）第２回県中教研英語部会郡市部長会議
２月９日（火）第３回丹生郡英語科主任会
・授業研究会（各中学校の授業参観を踏まえて）
・県中教研集会の発表について</td></tr>
</table>

部	部長名	活　動　内　容
越前市・今立郡部	尾形　俊弘 （万葉中）	１　活動概要 ○授業研究会は年２回、越前市では武生五中、南条郡・今立郡では今庄中で実施されたが、新型コロナ感染予防のため、各校１名の参加に絞った。公開授業と研究会を通して活発な意見交換を行い、授業力の向上を図った。 ○夏季休業中には、英語教員研修会を実施し、前文部科学省専門官を講師に迎え、「新しい学習指導要領における英語授業」について講義していただき、２学期以降の授業改善に向けて大いに参考になった。また、管内の３教員が講師になり、iPad を用いた実践を紹介、体験できたことも有意義だった。 ○丹南ブロック英語セミナーは、南越地区の教員が事務局とセミナー委員長を担当し、武生第三中学校を会場として開催する予定だったが、新型コロナ感染拡大とＡＬＴの確保が難しいため、やむを得ず中止とした。 来年度は、新型コロナがある程度収束して、今年度開催できなかった行事が予定通り実施されることを願う。 ２　活動実績 ４月１４日　第１回英語科主任会（万葉中） ７月２１日　中教研鯖丹南越ブロック研究集会 （発表者　南条中　宇原教諭　オンライン形式） ８月１０日　県中教研研究集会（兼東陸福井大会） （発表者　南条中　宇原教諭　オンライン形式） １０月１３日　南越地教委連管内英語科授業研究会（今庄中　加藤教諭） １０月２６日　第１回英語科授業研究会（武生五中　中村教諭） 令和４年２月２４日　第２回英語科主任会（万葉中） ３　成果と課題 「生き生きと意見や考えを表現することのできる生徒の育成～教科書の内容を重視した言語活動を通して～ 」という研究主題のもと、南条中学校を中心にして東陸福井大会の発表に向けて実践研究を進めた。 新型コロナの影響で様々な制限がある中、電子メールでの情報交換と密を避けた研究会等の実施により、地区内の全中学校が連携して実践研究を進め、８月の福井大会に臨むことができた。 年２回の授業研究会では、今年度から全面実施となった新しい学習指導要領の理念のもと実践研究を進め、活発な意見交換ができた。

部	部長名	活　動　内　容
南条郡部	橋本　秀徳 （南条中）	南条郡は、授業研究会や研修会、また丹南ブロック夏季英語セミナーなど越前市･今立郡部と共に活動させていただいている。南条郡が主体として行った活動としては、南越地区地教委蓮管内英語教育研修会が、今庄中学校で行われ、加藤教諭による１年生のUnit 7（Foreign Artists in Japan）の授業が公開された。越前市からも多くの先生方にも授業を参観いただき、授業後の研究討議では、加藤教諭が日頃悩んでいる事柄などを中心に活発に議論された。 また、今年度は福井県中学校教育研究集会および東海北陸公立中学校英語教育研究会の発表が当たっており、宇原教諭（南条中）を中心とする南条中学校の単元構想や授業の工夫をまとめて発表した。 最後に、来年度は、今庄中、河野中、南条中の３中学校が、南越前中学校として統合されるため、今後はさらに越前市・今立郡部と連携し、英語教育研究を進めていきたい。 10月13日（水）　南越地教委蓮英語科授業研究会及び南越地区授業研究会 （今庄中学校） （越前市・今立郡部と重なる活動実績は、省略）
敦賀市部	竹田ひとみ （東浦中）	基礎・基本の定着を図るとともに、４技能５領域の統合的な言語活動を通して、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うことを重視した授業改善を推進してきた。また、小学校英語部会と連携して小中合同授業研究会を行うなど小中連携・接続の強化、教員の指導力向上と生徒の英語力向上に取り組んだ。 ＜主な活動内容＞ ５月17日（月）　第１回英語部会 東海北陸英語教育研究会（福井大会）の発表資料検討 ６月14日（月）　二州ブロック中学校教育研究集会 粟野中学校発表（オンライン） ８月10日（火）　福井県中学校教育研究集会　粟野中学校発表（オンライン） 10月18日（月）　第２回英語部会　　パフォーマンステスト・評価について 11月８日（月）　小中合同授業研究会打ち合わせ 11月15日（月）　第３回英語部会　　小学校英語部会との合同授業研究会 小学校の授業参観（４年　外国語活動）・研究協議・情報交換 （小学校教員は集合型、中学校教員はオンラインで参加） 12月13日（月）　ＡＬＴによるクリスマスキャロリング ～14日（火）　（市内中学校勤務ＡＬＴ６名が全中学校を訪問） ２月21日（月）　第４回英語部会　今年度の反省とまとめ

部	部長名	活　動　内　容
三方郡・三方上中郡部	百田　忠浩 （三方中）	英語教育における小中高との連携を図るため、町内の小中学校や近隣の高校の教員対象の公開授業を行い、相互参観を行った。今年も、美浜中学校、三方中学校、上中中学校では、美方高校への連携クラスを中心に、美方高校教員による乗り入れ授業や集中講義などを行った。中高連携クラスでは、国際理解教育と高等学校での英語学習への橋渡しを念頭に置き、長文読解、英作文、GTEC 対策などの活動をバランスよく行っている。また、美方高校２年生による探究活動の中間発表会（１０月）に、美浜・三方・上中中学校生徒も参加し、ＳＤＧｓの様々なテーマに取り組む高校生の課題設定や探究方法などから多くの示唆を得た様子であった。２月に予定されている本発表にも参加の予定である。 【令和３年度活動報告】 ５月　・中高一貫教育連携クラス年度始め打ち合わせ会議 ・中高連携授業打ち合わせ（美方高・美浜中・三方中・上中中） ５月　・三方中、美浜中に美方高校教員による乗り入れ授業開始 ６月　・第１回中高一貫研究委員会 ９月　・三方中、美浜中に美方高校職員による先取り授業再開 ９～１２月　・校内公開授業（美浜中、三方中） １１月　・美方高校探究発表会（中間発表会） １２月　・連携クラス教科担当打合会 １月　・中高一貫連携入試 ２月　・美方高校探究発表会（本発表） ３月　・第２回中高一貫研究委員会
小浜市部	窪田　朋亮 （上中中）	5/12　４町中学校教科教育研究会推進委員会 5/25　第１回小浜市英語授業づくり部会 7/ 7　第２回若狭地区中教研英語部会（第１回は1/19に開催） 「テーマ」「組織編制」「今後の方向性」 （Zoom によるリモート方式） 8月　若狭ブロック英語セミナー（小浜市食文化館）（中止） 8/ 6　第３回若狭地区中教研英語部会（嶺南教育事務所） リモート開催も準備 ・「テーマ」「組織編制」「授業研究会の具体」 9/24　４町中学校教科教育研究会兼 第４回若狭地区中教研英語部会 （上中中学校） ・授業研究会　１年生　Unit6 A Speech about My Brother 上中中学校　窪田 朋亮 教諭 ・若狭地区中教研英語部会「テーマ」「組織編制」について

部	部長名	活　動　内　容
小浜市部	窪田　朋亮 （上中中）	10/28　４町中学校教科教育研究会兼 ５回若狭地区中教研英語部会 （高浜中学校） ・授業研究会　２年生　Unit5 Universal Design 高浜中学校　堀口尚敬 教諭 ・若狭地区中教研英語部会 「授業の方向性」「来年度の日程」について 11/26　第５回若狭地区中教研英語部会（小浜中学校） ・授業研究会　１年生　Unit8 A Surprise Party 小浜中学校　時岡 陸 教諭 ・若狭地区中教研英語部会 「授業の方向性」「研究大会の内容」について 12/16　第７回若狭地区中教研英語部会（大飯中学校） ・授業研究会　２年生　Unit6 Research Your Topic 大飯中学校　田中 菜央 教諭 1/28　第８回若狭地区中教研英語部会（小浜第二中学校　リモート方式） ・授業研究会　２年生　Unit7 World Heritage Sites 小浜第二中学校　小川 真也 教諭 2月　第９回若狭地区中教研英語部会（小浜第二中学校） ・若狭地区中教研英語部会（嶺南教育事務所） 「組織編制」「授業の方向性」「来年度の日程」について
大飯郡部	中島　正二 （名田庄中）	大飯郡支部（高浜町・おおい町）は、若狭町と美浜町を加えた４町の７中学校（高浜、内浦、大飯、名田庄、上中、三方、美浜）による中学校教科教育研究会内で授業研究を進めている。同時に若狭ブロック（高浜、内浦、大飯、名田庄、小浜、小浜第二、上中）の７校による若狭地区中教研英語部会を組織し英語セミナー等を実施してきた。 今年度は、これまでの研究組織を活かしながら、令和４年度１０月開催予定の福井県英語研究大会若狭大会に向けて、若狭ブロック（高浜、内浦、大飯、名田庄、小浜、小浜第二、上中）の７校で授業研究を進めている。 5/12　４町中学校教科教育研究会推進委員会 7/ 7　第２回若狭地区中教研英語部会（第１回は1/19に開催） ・「テーマ」「組織編制」「今後の方向性」 （Zoom によるリモート方式） 8月　若狭ブロック英語セミナー（小浜市食文化館）（中止） 8/ 6　第３回若狭地区中教研英語部会（嶺南教育事務所） リモート開催も準備 ・「テーマ」「組織編制」「授業研究会の具体」

部	部長名	活　動　内　容
大飯郡部	中島　正二 （名田庄中）	9/24　４町中学校教科教育研究会兼 第4回若狭地区中教研英語部会 （上中中学校） ・授業研究会　１年生　Unit6 A Speech about My Brother 上中中学校　窪田 朋亮 教諭 ・若狭地区中教研英語部会「テーマ」「組織編制」について 10/28　４町中学校教科教育研究会兼 第5回若狭地区中教研英語部会 （高浜中学校） ・授業研究会　２年生　Unit5 Universal Design 高浜中学校　堀口 尚敬 教諭 ・若狭地区中教研英語部会 「授業の方向性」「来年度の日程」について 11/26　第６回若狭地区中教研英語部会（小浜中学校） ・授業研究会　１年生　Unit8 A Surprise Party 小浜中学校　時岡 陸 教諭 ・若狭地区中教研英語部会 「授業の方向性」「研究大会の内容」について 12/16　第７回若狭地区中教研英語部会（大飯中学校） ・授業研究会　２年生　Unit6 Research Your Topic 大飯中学校　田中 菜央 教諭 1/28　第８回若狭地区中教研英語部会（小浜第二中学校　リモート方式） ・授業研究会　２年生　Unit7 World Heritage Sites 小浜第二中学校　小川 真也 教諭 2月　第９回若狭地区中教研英語部会（小浜第二中学校） ・若狭地区中教研英語部会（嶺南教育事務所） 「組織編制」「授業の方向性」「来年度の日程」について

県高教研英語部会・県高文連英語部会

代表理事　**西　口　佳　光**

１．令和３年度高教研・高文連英語部会役員

部 会 長　浅井　裕規　（鯖江高等学校長）
副部会長　磯野　和之　（武生高等学校教頭）
代表理事　西口　佳光　（武生高等学校教諭）
※　高教研英語部会は、加盟校英語科主任の先生が理事となっています。
庶　　務　板垣　洋美　（武生高等学校教諭）
嶋田　玲子　（武生高等学校教諭）
会　　計　黒瀬　洋子　（武生高等学校教諭）
事 務 局　武生高等学校　〒915-0085　越前市八幡１丁目 25-15
TEL:(0778)22-0690　FAX:(0778)22-0692

２．予算執行

〔高教研〕　本部より英語部会に 309,000 円頂き、県英語教育研究大会の運営費や、『会報』の印刷費に充てました。

〔高文連〕　本部より英語部会に 187,000 円頂き、高校英作文コンテスト（93,000 円 ）・高校英語弁論大会（94,000 円）の運営費に充てました。

３．高教研英語部会理事会

令和３年５月２４日（月）、武生高等学校で予定しておりました理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止され、審議事項について書面による決議が行われました。令和２年度事業報告・決算報告、令和３年度事業計画・予算案を審議し、高教研大会・英語教育研究大会の延期に伴う発表校ローテーション等を確認しました。

４．高教研英語部会総会

令和３年６月１１日（金）、ユーアイふくいにて予定しておりました総会も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止され、審議事項について書面による決議が行われました。令和２年度事業報告・決算報告、令和３年度事業計画・予算案を審議し、高教研大会・英語教育研究大会の延期に伴う発表校ローテーション等を確認しました。

５．福井県高等学校教育研究大会　英語部会

令和３年８月２５日（水）、アオッサ県民ホールにて予定しておりました高教研大会英語部会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止され、紙面による発表となりました。

大会主題　各教科の特質に応じた「見方・考え方」をいかした「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、教科・科目の指導をどのように改善すればよいか。

部会主題　外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方をもとに、主体的・対話的で深い学びを実現するためには、どのような指導を行うとよいか。

発表者：　森谷　町子（大野高校教諭）
本好　祐爾（武生商工高校教諭）

発　表　の　概　要

研究主題　外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方をもとに、主体的・対話的で深い学びを実現するためには、どのような指導を行うとよいか。

大野高等学校
森谷　町子

主体的で深い学びにつながる「対話」のある授業をめざして

１．はじめに

本校は、今年度創立 116 周年を迎え、入学生のほとんどが大野市内の中学校出身で、勝山市、福井市からの入学生が数名という、地域に根差した普通科高校である。生徒数は年々減少し、平成 30 年度より全学年４クラスとなり、今年度全校生徒数は 388 人となった。１年次は特進コース２クラス（うち１クラスはスーパー特進)、進学コース２クラス、２年次よりＳ文系・文系・Ｓ理系・理系各１クラスずつの編成となるが、それでも１クラス内での学力幅はかなり大きく、英語科では２，３年次に２クラス３講座展開で１講座 20 ～ 25 名程度の少人数で授業を実施している。学力層に合わせた授業ができるほか、少人数のため１時間にほぼすべての生徒に指名したり声をかけたりすることができ、生徒も遠慮なく意見を発表できるというメリットがある。

本校では 2020 年度より探究学習プログラム「D-Kompas」を立ち上げ、総合的な探究の時間をはじめ教科の授業や他の活動を通して「生きる力」「自ら行動する力」の育成を目指して、地域や大学等と連携を図りながら進めるプロジェクトの構築に取り組んでいる。また、D-Kompas の一環として「D-Time」という時間を設定し、「生徒が自ら課題を見つけ学習に取り組むための時間」を設けている。来年度入学生からの本格実施（週３コマ）に向け、今年度の第１学年は LH の時間や学期末特別時間割の中で年間 15 時間程度を確保し試行している。自分の弱点補強や発展的な学習の補助としてリクルート社の「スタディサプリ」を導入し、D-Time だけでなく朝学習や家庭学習で利用できるようにしている。その他にも､興味関心に合わせて選択できる希望制講座を設定したり、将来的には模擬裁判や英語ディベートなどのイベントに参加する生徒はその準備に時間を使ったり、総合的な探究の時間では足りない生徒は探究の続きに時間を使ったりと、生徒自らが活動を自由に選択・決定し行う時間になるよう取り組み始めているところである。

２．英語科としての課題設定と取り組み

（１）生徒の意識調査アンケート結果より

本校英語科として課題と感じていることの一つとして、生徒は「話したり書いたりしようという

意欲はあるものの、正確さや内容が学年を経てもなかなか向上・改善されて行かない」ということが挙げられた。読解力、表現力の向上を目指して語彙テストや例文テストを日々の授業の中で実施し、生徒も一生懸命取り組み、再テストまで真面目に受けているが、その一方で、英作文の添削指導をしていると、３年生の受験期になっても基本的な誤りを何度も訂正しなければならない、というようなことが何度も話題に上った。

誤りの訂正ということに関して、たとえば、授業や課題で英作文を課した後の指導としては、「提出前に、自分で訂正できることがないか、読み直しをさせる」「ペアで交換して気付く誤りを訂正し合う」または英作文を回収後、「誤りに下線だけ引いて返却し自分で正しい表現を考えさせる」「逐一訂正する、あるいは動詞の使い方などに絞って訂正する」「返却後に共通して見られる過ちの訂正をクラスで考えさせる」「誤りは直さずコメントだけ書いて返却する」と様々なやり方がある。また話す活動においては「クラスメートの話す英語を聞いて自分の誤りに気付く」「クラスでシェアリングする際に正しい表現にして教師が言い直したりそれを生徒にもう一度言い直させたりする」「活動の後で話した内容を作文に書いて正しい表現を考えさせる、あるいは訂正して返却する」等の指導法が考えられる。しかし、生徒同士の活動を通して表現力が伸びているという実感がなく、逆に逐一誤りを訂正してやることは意欲を削ぐことにはならないのか、本当に生徒に定着しているのか、またどのようなフィードバックが表現の正確さや内容の深まり、意欲の向上に効果があるのか、などについて、生徒の意識調査アンケートを実施した。

アンケート調査は昨年度の高教研大会発表が一年延びたことを受けて、同じ内容で 2019 年 12 月と 2021 年２月の２回、当時の１・２年生を対象に実施したが、大きな傾向の変化は見られなかったので、2021 年２月実施のデータを取り上げる。誤りを指摘されることについての意識や抵抗感、指摘・訂正された表現は定着していると感じているか、誰からどのように指摘されるのが効果的だ

英語の活動に関するアンケート

Class　No.　Name

英語の授業ではReading, Listening, Writing, Speaking の4技能を使う活動を行っています。
このアンケートでは特に表現する(Writing, Speaking)の活動の際のフィードバック(誤りの訂正や評価・コメント)について質問します。誤解のない意思疎通のためには、伝えたい気持ちだけでなく「正確に」表現する力も必要です。
左欄の日本語を読み、あなたの気持ちにあてはまるものを1～4から一つ選び、番号を○で囲んでください。

	話すこと(発音を含む)についての質問	そう思わない	あまりそう思わない	少しそう思う	そう思う
1	英語を話す活動は好きだ。	1	2	3	4
	その理由(自由記述)				
2	英語を話す際、正確に言えているか気になり、活動が進まない。	1	2	3	4
3	スピーキングの際、誤っている箇所だけを指摘してもらいたい(どう言えばいいのか自分で考え直したい)。	1	2	3	4
4	スピーキングの際、誤っているところを正しく訂正してもらいたい(どう言えばいいのか教えてもらいたい)。	1	2	3	4
5	先生からの誤りの訂正は効果的だ。(その後、定着している)	1	2	3	4
6	クラスメートに聞いて気づいた誤りの訂正は効果的だ。(その後、定着している)	1	2	3	4
7	自分で気づいた誤りの訂正は効果的だ(その後定着している)。	1	2	3	4
8	授業中の音読活動や音読テストで訂正された発音は定着している(その後は間違えない)。	1	2	3	4
9	スピーキングテストで肯定的な評価やコメントをもら少更に力をつけたいという意欲につながる。	1	2	3	4
10	スピーキングテストで誤りを細かく訂正してもら少、更に力をつけたいという意欲につながる。	1	2	3	4
11	スピーキング活動で、クラスメートが話す内容や表現が参考になり、自分も使ってみたいと感じる。	1	2	3	4
	スピーキング活動では、誰からのどのようなフィードバックをしてもらいたいですか。○で囲み、励みになるフィードバックについて自由に書いてください。	先生(ALTも含む)・クラスメート・その他(　　)から			

	書くことについての質問	そう思わない	あまりそう思わない・	少しそう思う	そう思う
1a	英作文(和文英訳)は好きだ。	1	2	3	4
	その理由(自由記述)				
1b	英作文(自由英作文)は好きだ。	1	2	3	4
	その理由(自由記述)				
2	英作文の際、正確に書けているかが気になって活動が進まない。	1	2	3	4
3	英作文を書いた後、誤っている箇所だけを指摘してもらいたい(自分で正解を調べたり考えたりしたい)。	1	2	3	4
4	英作文を書いた後、誤っている箇所を正しく訂正してもらいたい(どう直すかも教えて欲しい)。	1	2	3	4
5	先生からの誤りの訂正は効果的だ。(その後、定着している)	1	2	3	4
6	クラスメートに聞いて気づいた誤りの訂正は効果的だ。(その後、定着している)	1	2	3	4
7	自分で気づいた誤りの訂正は効果的だ(その後定着している)。	1	2	3	4
8	テスト(定期考査・県模試など)の英作文で間違えた箇所は、訂正して定着している。	1	2	3	4
9	ライティング作品で肯定的な評価やコメントをもら少更に力をつけたいという意欲につながる。	1	2	3	4
10	ライティング作品で間違いを細かく指摘してもら少更に力をつけたいという意欲につながる。	1	2	3	4
11	クラスメートの英作文を読むと表現や内容が参考になり、自分も使ってみたいと感じる。	1	2	3	4
	ライティング活動では、誰からのどのようなフィードバックをしてもらいたいですか。○で囲み、励みになるフィードバックについて自由に書いてください。	先生(ALTも含む)・クラスメート・その他(　　)から			

と感じているか、等について「４・そう思う」「３・少しそう思う」「２・あまりそう思わない」「１・そう思わない」４択での回答とし、３・４をまとめて肯定的な意見、１・２を否定的な意見と解釈した。

Ｑ１：英語を書く活動は好きだ

ａ）和文英訳　　１年 50%　２年 37%　　ｂ）自由英作文　１年 62%　２年 53%

「自由英作文の方が自由に思う通りに書ける」という意見が多く、比較的抵抗感なく楽しんで書いている様子ではあるが、苦手な生徒からは「語彙や文法の知識が足りなくて不安」「書く内容がない、思い浮かばない。」という意見も出された。

Ｑ２：正確に書けているか気になり活動が進まない？　半数の生徒（１年 52%　２年 54%）がそう感じている。

Ｑ３：誤りの箇所だけ指摘してもらい、どう直すかは自分で考えたい？　１年 54%，２年 53%

Ｑ４：誤りを訂正してもらいたい？　１年 94%，２年 96%　ほとんどの生徒が自分で正しい表現を考え直すのではなく、きちんと添削されるのを望んでいる。

自由記述より

・誤りの理由を教えてほしい。（多数）

・新出の文法の使い方を教えてほしい。　・文の作り方や構成も教えてほしい。

・単語の正しい使い方を教えてほしい。　・他の表現方法も知りたい。

・理由に説得力があるかも指摘してほしい。

Ｑ５～Ｑ７誰に訂正してもらうのが効果的だと感じているか（定着しているか）

	１年	２年
Q5：先生から	97%	96%
Q6：クラスメートから	76%	86%
Q7：自分で気づく	74%	86%

「自分で気付いた誤り」や「クラスメートに指摘された誤り」よりも「教員に指摘され訂正された誤り」の方が正しい表現が定着していると生徒は感じている。また１年よりも２年の方がクラスメートや自分による気づきがあり、定着していると感じている様子がうかがえる。

さらにどのようなフィードバックが意欲につながるかを質問した。

	１年	２年
Ｑ９：ライティング作品で肯定的な評価やコメントをもらうと更に力をつけたいという意欲につながる。	86%	90%
Ｑ 10：間違いを細かく指摘してもらうと更に力をつけたいという意欲につながる。	86%	87%
Q11：クラスメートの英作文を読むと表現や内容が参考になり、自分も使ってみたいと感じる。	87%	85%

肯定的な評価やコメントが次の活動に対する意欲につながっていることは想定されたが、誤りを細かく指摘することは予想していたほど生徒のやる気を削いではいないことが分かった。

同様の質問をスピーキング活動についても行った。書く活動に比べて生徒同士のペアワークが多く、生徒同士で誤りに気付き指摘してもらった表現は定着していると感じていることが伺える。書く活動と同様に「自分で気付いた誤り」「クラスメートに指摘された誤り」の訂正よりも「教員に

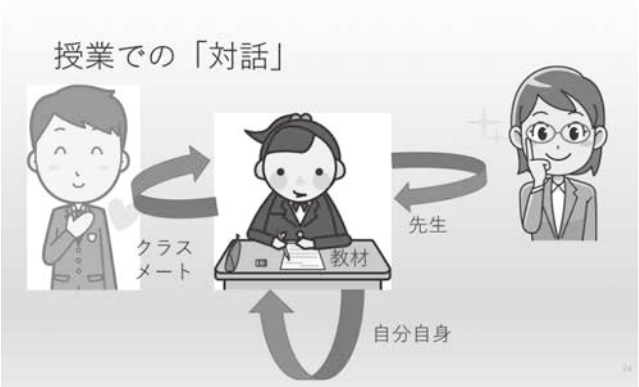
指摘され訂正された誤り」の訂正は定着していると感じている。書く活動よりも話す活動においてクラスメートや自分による気づきがあり、定着していると感じている（1年）様子も伺えた。

以上の結果より、ペアワークやグループワークなどの活動でも内容や表現についてお互い刺激をしあい、学びがある（と生徒は感じている）ことが分った。しかし、生徒の「誤りを正しく訂正して欲しい」「正しい英語を使えるようになりたい」という意欲や積極性を感じる一方で、逐一ミスを指摘して直してやることは本当に「主体的な学び」につながっていくのか、という不安も感じた。学習者としてはとても受け身であり、自分で辞書や参考書、教科書などを駆使して正しい表現を探し、使えるようになってもらいたいという気もする。また、個人指導で一つ一つ理由も説明してやりながら訂正するのが効果的であるが、実際には担当する生徒全員とそのような時間をもつ余裕はないのが現実である。

（2）授業の取り組みや工夫の共有

これらの意識調査を行う一方で、英語科教員それぞれが、生徒の意欲や主体性を伸ばしつつ４技能の伸長と深い学びにつながる授業をめざして行っている工夫や取り組みを共有してきた。それらの取り組みを「対話」の型で分類して紹介する。

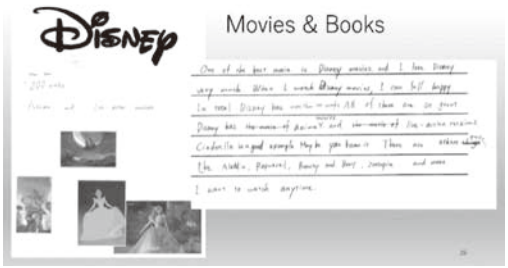
○「生徒」対「生徒」の対話
ペアワークの繰り返しによる気づき
（各学年）



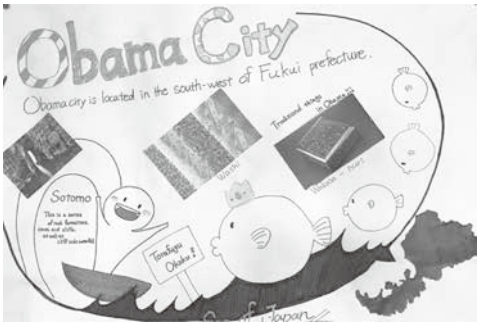
ペアを変えながら対話を繰り返す活動が公開授業でもよく行われる。繰り返す中で表現を変えたり、内容を詳しくしたりする深まりが見られることもあるが、授業後の協議の中で、大切なのはただ繰り返すだけでなく、あるペアのモデルを共有して参考にしたり、リフレクションの時間をとったりすることが重要だということを学んだ。

プレゼンテーション　ペアでの発表、相互評価（１年英表 TT １学期）

自己紹介、友人紹介、好きな映画や音楽について、Ａ４用紙の裏面に原稿を書き、表面にキーワードや絵を描いたり、写真を貼ったりしてデコレーションし、次の時間にそれを用いてペアでプレゼンを行い、内容や声の大きさ、アイコンタクトの観点で相互評価をする活動を３回繰り返した。入学したばかりで生徒同士の相互理解が深まったが、相互評価ではあまり辛辣なことは書けず、甘くなりがちな傾向が見られた。その後同様の活動をグループで継続して行い、評価は自己評価とした（後述）。



グループ活動での対話（１年英表 TT ２学期）



福井県内を７地域に分け、グループごとに１つの地域を担当して、Fuku-English やネットなどを活用してその地域について調べ、紹介する。グループで協力して調査活動、原稿作成、ポスターを作成、クラス内で発表する活動を行った。

学校祭を終えた後でクラス内の協力体制もでき、場合によっては放課後残ってでも作品を作り上げた。このようなグループ活動においても作業は分担しながらも「これは英語で何と表現すればよいのか」教え合ったり「この情報は必要か不要か」ということを相談したり、生徒同士活発に対話を行いながら作品を仕上げ、発表した。

タブレットを用いた「対話」

今年度生徒全員にタブレットが貸与されたことを受けて、考えを共有するツールが増えた。ロイロノートを使って複数の英作文を比較したり、発表用のスライドを利用したり、これからまだまだ研究の余地がある。今年度１学期の互見授業でも ICT 活用の事例を共有した。

Ｃ英Ⅲの授業で読んでいる副教材の長文にはタイトルがついていない。そこで読解を終えた後に英文内容を踏まえて各自がつけたタイトルを出し合い、ベストアンサーに選ばれたものを出版社に提供しようという実践例である。Jamboard を用いて各自の考えを出し合い、協議をした。

１年英語表現の Show & Tell では、紹介するものを持参しても良いが、写真を撮ってロイロノート上で提出し、それを順に示しながら発表を行った。ペットやぬいぐるみ、人物なども写真で見せることで簡単に紹介することができ、バリエーションが広がったように感じた。

○「生徒」対「教員」の対話

授業中や個人指導など様々な場面で生徒と教員との対話はある。小論文指導や英作文の個人指導は対話をしながら繰り返し指導ができる理想的なスタイルで、生徒の力の伸びを実感する時期でもある。同じ大学受験者をグループにして指導することで相互の作文を読んだり、あえて反対の意見を書いて検討したりすることもでき、このような形での指導を受験直前期に限らずできるだけ早い段階で取り入れていくのが望ましいと考えている。

パフォーマンステストのフィードバック（各学年）

音読やリテリングを教員と一対一で行い、その場で間違いを訂正してやったりフィードバックをしたりして評価の一部にも入れている。タブレットを使って一斉に提出させれば時間の有効活用にもなり、評価も楽になるかもしれないが、誤りをその場で指摘してやったり、ひと言コメントしたりして、対面だからこそできる個人指導の場ととらえ、敢えて対面形式で実践を続けている。

○「生徒」対「教材」の対話

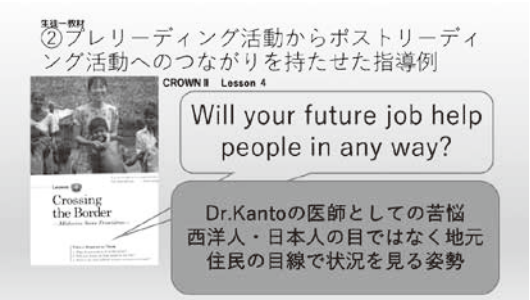
大きな視点で見れば、生徒は「教材」とも「対話」をしている。

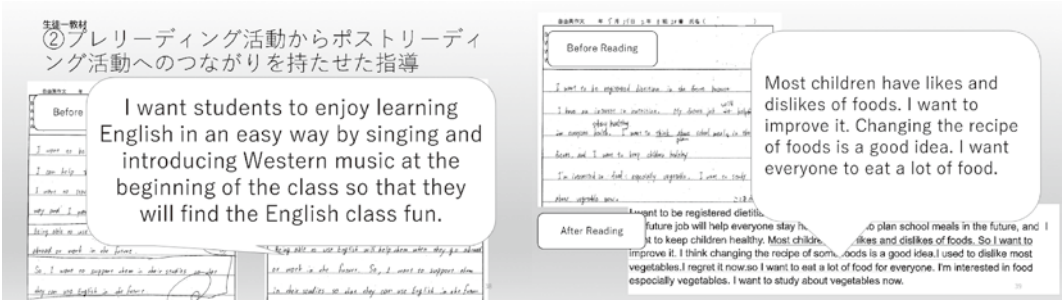
主体的な読みにつながるレッスン導入（各学年Ｃ英）

「教科書にあるから読む」のではなく、進んで読みたくなるような導入の仕方の工夫について令和２年度の授業力向上事業の公開授業で取り上げ、研究協議を行った。生徒と対話をしながら新出語彙を導入し、発音練習をしながら本文の導入につなげること、また具体的な地名が出てくる場合は地図を示してその地域の状況なども含めて対話をしながら導入することや、生徒になじみのないことに関しては動画が興味を引き付けるのには効果的であることなどを再確認した。生徒を教材の世界にスムーズに結びつけていく工夫をこれからも模索していかねばならない。

プレリーディング活動からポストリーディング活動へのつながり（各学年Ｃ英）

プレリーディング活動でライティングのトピックを与えて考えさせてから、本文読解を経てポストリーディング活動でも再度同様のトピックに取り組み、本文理解を深めた。CROWN Ⅱ　Lesson ４では、導入の質問 ”Will your future job help people in any way?” についてライティングをした。将来の夢についてはトピックにする機会は多いが、「自分の仕事がどんなふうに人の役に立つか？」という視点から考えさせた。本文中では貫戸医師が西洋人・日本人の目ではなく地元住民の目線で現地の状況を見る姿勢や、医師としての判断の難しさなどを読み取り、読後にもう一度同じトピックで英作文に取り組んだ。ある生徒は「英語の教員になりたい、生徒に英語を ”easy way” で学んで欲しい」と書いていたが、２回目には「授業の最初に英語の歌を紹介して歌うことで」と具体的になった。別の生徒は「管理栄養士になりたい」と書いていたが、２回目には「好き嫌いがある子供が多く、その状況を改善したい。野菜が食べられるレシピを考えたい」と膨らませた。自分が生徒、子どもの立場に立って想像し、具体的に表現することができたのではないかと考えられる。



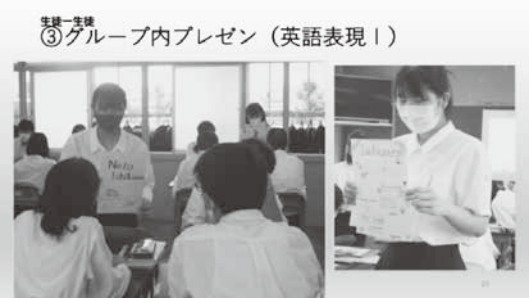


また、英語表現のエッセイ・ライティングでＣ英のテキストで読んだ教材のトピックを扱い、更に次の学期にはディベートの論題でも扱うというように、同じトピックを繰り返し扱うことで、生徒も取り組みやすく、もう一度英文を読み直したり、英文中に出てきた表現を作文で使ってみたりと、何度もその教材と「対話」を繰り返しながら深めていくことも可能になる。

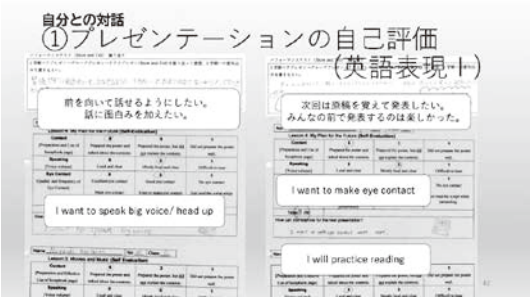
○「生徒本人内」の対話

生徒は「自分自身」とも「対話」をしている。英作文を書くときに自分で自分の作文に「Why?」「How?」などのツッコミを入れて深めていくのも自分との「対話」の一つである考えられる。また、自分の英語の学習法や実力を客観的に分析して、何にどう取り組んだらよいか、ということを考えるのも自分との「対話」であると考えられる。新しい学習指導要領のもとでは、知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に着けたりするために自分の学習状況を把握して学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとする姿勢が求められており、学習状況の評価の観点においては「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価が求められている。そこで自己評価の場面を少しずつ増やしてきている。

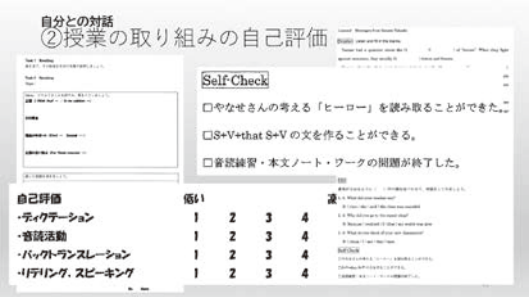
プレゼンテーションの自己評価（1 年英表 TT １学期）



先述の１年英語表現のスクラップブックページのプレゼンをペアで３回した後、グループ内で発表し、評価は自己評価とした。１学期末に Show&Tell のクラス内発表を目標にして、自分のプレゼンテーションの仕方をその都度振り返り、次に向けての課題を自覚しながら最終的な発表に臨んだ。Show&Tell 本番は ALT が評価をし、それを受けて１学期のプレゼンの振り返りをした（左下自己評価シート）。左の生徒は１回目の振り返りで「大きな声で、顔を上げて」と次回への課題をメモし、２回目も声の大きさは課題に残った。Show and Tell を終えた後には、まだ顔を上げてアイコンタクトをとることには課題が残ったが、内容も更に工夫をしたいと振り返った。右の生徒は１回目の振り返りではアイコンタクトをもっと取りたいとしていたが、２回目には（アイコンタクトをとれるように）原稿を読む練習をしたいと書いており、最終的にはその課題はまだ残ったが、アイコンタクトを取りながら伝わるように発表するには、原稿を書いた後、覚えるくらい読み込むことが必要だと考えたようである。



授業取り組みの自己評価（各学年 C 英）



ワークシートに取り組み方や理解度を自己点検する項目を作ることで、自分自身の学びを振り返る機会を設けている。各レッスンのセクションごとにワークシートを作成しているが、最後の部分にその日の授業、レッスン、セクションで生徒に身に着けて欲しいことや取り組んで欲しい課題について自己評価欄を

作成した。回収してチェックするところまではしていないが、目標や身に着けたい力を生徒にも意識させることができていると考えている。

考査や自宅学習の取り組み具合の自己評価（１年１学期）

教科書以外に単語集や週末課題の総合問題集を持たせているが、その取り組み具合はどうだったか、次の学期は何に力を入れていきたいか、○△や５段階評価、自由記述などで表現させた。提出後にＣ英、英表それぞれの担当者が目を通し、質問に答えたりコメントしたりして返却した。人から言われてではなく、自分でやるべきことを決めて取り組み、折に触れて繰り返して振り返ることで、できていないことを確認して補強したり、発展的に取り組んだりしていけるようになることを期待して行っている。この先は教材や授業に対する振り返りだけではなく、もっと大きな視野で英語の学びとしてわかったこと、できるようになったこと、もっとやってみたいことを意識させつつ、生徒一人一人の学びの跡を記録してポートフォリオに残していきたいと考えている。

英語表現Ⅰ		○△×	5段階評価	コメント（特に力を入れたこと、反省、改善点、質問など）
DUALSCOPE Departure	日々の取り組み	△	4	予習はしたけれど、DUAL SCOPEを読むことを怠ってしまって「大過去」などがわからないことがありました。これからは予習＋DUAL SCOPEを読むことをてっていしていきたいです。何で過去形なのか？現在形ではだめなのか？と日々疑問を持って授業に臨みたいです。アリシア先生の授業では毎回写真などを探してカラフルに作るようにしました。まだまだ発音などが正しくないので、先生の発音をきいて直したいです。
	テスト勉強	○		
暗唱例文学習	日々の取り組み	○		
	テスト勉強	○		
アリシア先生の授業	日々の取り組み	○		
	テスト勉強	○		

３．今後の課題

最後に教員同士の「対話」も重要である。今回の発表は各教員の取り組みを共有する良い機会になった。幸い英語科教員の人数は７人と少ないうえに、クラス数も少なく講座を組んでいるので、日頃から授業の進め方について相談しやすいし、互見授業などを通してお互いの実践について共有できる環境にある。改めて「なぜその順でやるのか」「なぜこの時期にそれをするのか」ということを話してみると参考になることも多い。英語科として大きなイベントや取り組みをしているわけではないが、それぞれの先生方の持ち味を生かしながらもベクトルの方向をそろえてやっていける、とても恵まれた環境であると感じている。これからも互いに実践を共有しながら授業改善に取り組んでいきたい。

素直な生徒が多く、教員の指導に従って真面目に取り組んでいるが、その一方で「自主的な学び」につながっていかないことが課題である。英語の学習においても、冒頭に述べた通り、小テストや課題には真面目に取り組むが、発展的な学習や授業以外の場面で英語に挑戦しようという生徒が少ない。自分から発展的なことをやりたくなるような「しかけ」をどう仕組んでいくかを学校全体としても模索中である。また、英語科としては今回共有した取り組みを整理して、３年間を見通した指導の流れを練り上げていく必要がある。また、来年度から始まる新課程に向けて、生徒の学びが反映される評価の検討も急務である。

研究主題　外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方をもとに、主体的・対話的で深い学びを実現するためには、どのような指導を行うとよいか。

武生工業・武生商工高等学校
本好　祐爾

生徒の学習意欲を引き出し、基礎力を向上させるための英語科の取り組み

1　学校と生徒について

1．現在の本校について

本校の生徒は、3 年生が武生工業高校に、1，2 年生が武生商工高校に在籍している。来年度は工業キャンパスの 1 年生から 3 年生までがすべて武生商工高校の生徒となる。

武生工業高校は 1959 年（昭和 34 年）創立で、今年度で 63 年目になる。来年の 3 月、61 代目の卒業生を送り出し、その歴史を閉じる予定である。

武生商工高校は昨年度開校し、今年で 2 年目になる。令和 2 年度から 6 年度までの 5 年間は工業と商業の 2 つのキャンパスが存在するが、令和 7 年度よりキャンパスが統合され、全ての学科の生徒が同じ校舎内で学ぶことになる。

2．学科と進路について

武生工業高校は都市・建築（1 クラス）、電気（1 クラス）、工業化学（1 クラス）、電子機械（1 クラス）の 4 学科編成となっている。

武生商工高校（1，2 年生）は機械創造（2 クラス）、電気情報（1 クラス）、都市・建築（1 クラス）の 3 学科編成となっている。なお、商業キャンパスは商業マネジメント（2 クラス）、情報ビジネス（2 クラス）の 3 学科編成となっている。

卒業生の約 8 割が就職し、その多くが地元企業に就職している。また、進学者はその約半数が工業系に進んでいる。

3．カリキュラムについて

英語科の履修科目と単位は、次のようになっている。

・1 年次　コミュニケーション英語Ⅰ（3 単位）
・2 年次　コミュニケーション英語Ⅱ（2 単位）
・3 年次　コミュニケーション英語Ⅱ（2 単位）
　　英語表現Ⅰ　　（2 単位＝選択科目）

また、3 年生の進学希望者を対象に、週 1 回課外授業を実施している。

4．生徒について

入学時点で、英語の基礎がしっかりできている生徒、英語に自信を持っている生徒、英語への高い学習意欲を持っている生徒の割合は少ない。

↓

生徒が英語の基礎力を固め、英語に対する自信をつけ、少しでも前向きに学習できるようにと次のような取り組みをしている。

2　英語科の取り組み

1．1・2年次に1つのクラスを2つに分け、2人の英語教員で担当している。
- 出席順に前半と後半に機械的に分けている。
- 次年度は前年度担当しなかったグループを担当。
- 少人数ならではの生徒との距離感（親密感、緊張感）。
- 一人一人により手厚い指導が可能。

2．授業導入時に英語の歌を聞いている。
- リラックスして楽しんで英語を学べるような雰囲気づくり。
- 英語のリズム、英語的な表現への慣れ。
- 語彙の増強。
- リスニング力の向上。

※考査で歌の聞き取りテストを実施することで、より真剣に取り組むように促している。（資料１）

3．単語テキストに取り組み、語彙力の定着を図っている。
- 単語テキスト（ワードマイスター１７００）を与え、定期的にテストを実施することで、語彙力の定着を図っている。
- テスト計画表を事前に配布し、生徒が計画的に学習できるようにしている。
- 中学校レベルの単語から始め、最初から大きな負担なく取り組めるようにしている。（資料２）

4．授業では共通のワークシートを配付している。
- 内容を効率的にとらえさせると同時に、教師間で教える内容の共通理解を図っている。
- 教科書で学んだ表現を使ってみる課題や、教科書の内容に関連したテーマについて意見を英語で書かせる課題を設けている。その課題については授業の中で確認したり、提出させて添削し生徒に返したりしている。
- 考査にもワークシートの内容に関連する問題を出して、評価している。

5．英語の資格試験にチャレンジをしている。
- 校内で行われている考査だけではなく、公的な資格を目指すことによって、学習のペースメーカーとし、同時に生徒のモチベーションを高めている。
- 1年次にはSTEP英検3級合格を目指す。すでに3級を所持している生徒の中には、準2級を受験するものもいる。
- 2年次にはリスニング英検（1～3級）、技術英検3級を受験する。
- 3年次は希望者が受験をしている。

（参考）

（1）福井フューチャーマイスター制度について
- 専門資格取得や検定試験合格をはじめ、コンクール、競技会等での入賞に向けた生徒の意欲や活力の向上を促進する。
- 将来にわたり、地元企業において活躍できる能力や態度を養う。

・資格検定、企業実習、各種コンクール、部活動、地域貢献ボランティアなどを難易度や地元産業界のニーズから得点化。

（S）＝３０点　（A）＝２０点　（B）＝１２点　（C）＝７点　（E）＝３点

- 合計した得点をもとに、「プラチナ（合計８５点以上）」「ゴールド（合計５０点以上）」、「シルバー（合計３５点以上）」、「ブロンズ（合計２０点以上）」として認定。

※本校でも履歴書や調査書に記載できる資格として重視。

（２）資格試験のフューチャーマイスター制度上の得点について
・STEP 英検　　準２級＝（D）　５点　　３級＝（E）３点
・リスニング英検　　１級＝（B）１２点　　２級＝（C）７点　　３級＝（E）３点
・技術英検　　３級＝（E）　３点
※仮に STEP 英検準２級、リスニング英検１級、技術英検３級を取得すれば、20 点が加算
＝これだけで「ブロンズ」認定。

６．英語学習の成果をアウトプットさせるために次のような課題を与え、ALT に評価してもらい、成績に組み入れている。
・1 年次　①音読テスト　　②インタビューテスト
・2 年次　③個人によるプレゼンテーション
・3 年次　④グループプレゼンテーション　　⑤課題研究レポート提出

①音読テスト（資料３）
・生徒が教科書の一部を読んで、ALT に評価をしてもらっている。
・今年度はタブレットを使用した動画を課題として録画し、ALT に採点してもらっている。

②インタビューテスト（資料４）
・STEP 英検の２次試験形式で ALT を Interviewer として、面接試験を実施している。
・英検の２次試験の対策として行っている。
・過去の英検３級二次試験の過去問を使うこともあれば、教科書の本文を使用することもある。

③個人によるプレゼンテーション
・あるテーマについて、生徒個人が発表を行う。
・原稿を覚えて、聴衆とアイコンタクトしながら行えたほうがよいが、原稿を見ながらプレゼンをすることも禁止してはいない。
・写真や絵などの資料を提示してもよい。

④グループプレゼンテーション（資料 5）
・グループで発表を行う。ここ２年間は「アーロン先生（ALT）に日本の文化を紹介しよう」というテーマで行っている。
・昨年度はメンバーが順番に原稿を読む形式で行ったが、本年度はタブレットを用いて、原稿や写真等も提示しながら行った。

⑤課題研究レポート（資料 6, 7）
・本校では３年次に専門科での学習の集大成として、グループで課題研究を行い、学年末考査後に発表を行っている。その課題研究の内容を紹介するレポートを英語で作成・提出する。

３　成果

１．授業わかる度調査の分析
過去２年間の授業わかる度調査の結果を示す。

項　　目	令和元年度	令和２年度
授業に対して、「よく分かる」「大体分かる」	８１．３％	８１．２％
教師の説明や指示について、「よく分かる」「だいたい分かる」	９１．３％	８９．３％

上の項目についての生徒の回答は８０％以上となっており、教科書の選択や授業で取り扱っている内容、授業の進め方等は概ね生徒のレベルに合っており、それに加えて少人数講座制をとっていることでよりきめ細かい指導ができているものと思われる。

２．資格・検定試験取得状況

過去３年間の資格・検定試験取得状況を示す。

〈2018 年度入学生〉

CEFR レベル	入学時	2019年3月＊	2020年3月＊	2021年3月＊
資格・検定試験取得なし	88	58	56	56
Ａ１(STEP 英検３級)	42	60	47	47
Ａ２(STEP 英検準２級、技術英検３級)	0	5	19	19
Ｂ１(STEP 英検２級他)	0	0	0	0

〈2019 年度入学生〉

CEFR レベル	入学時	2020年3月＊	2021年3月＊
資格・検定試験取得なし	104	75	70
Ａ１(STEP 英検３級)	21	45	47
Ａ２(STEP 英検準２級、技術英検３級)	0	0	3
Ｂ１(STEP 英検２級他)	0	0	0

〈2020 年度入学生〉

CEFR レベル	入学時	2021年3月＊
資格・検定試験取得なし	84	65
Ａ１(STEP 英検３級)	33	51
Ａ２(STEP 英検準２級、技術英検３級)	0	1
Ｂ１(STEP 英検２級他)	0	0

（注）表中の数字は人数を表す。＊は「進路変更者あり」の年度

どの学年も、CEFR 基準によるレベル達成者の数を伸ばしている。また、数字には表れていないが、もうすこしで合格であったという生徒も多数いた。合格という明確な結果にはつながらなかったものの、生徒たちは英語の学力を徐々に伸ばしており、入学時の英語の学力は年々低下傾向にあることを考慮すると、その中でも一定の成果が上がっていると認められる。

３．まとめ

生徒の実情に応じた指導をすることで、生徒たちはおおむね英語学習に無理なく前向きに取り組めており、基礎力を向上させていると考えられる。

4　課題

・目指している資格試験とそれに関連する指導計画を見直す必要がある。（検定試験実施日の変更、英検受験料の値上がり等）

・商業キャンパスとの統合を見据え、商業キャンパスの学科とカリキュラム・シラバスを統一していく必要がある。

Have you never been mellow?

There was a (1) when I was
in a (2) as you are.
I was like you.
There was a (3) when I just
had to tell my (4) of view.
I was like you.
Now I don't (5) to make you frown.
No, I just want you to (6) down.

※
Have you never been mellow?
Have you never (7)
to find a comfort from (8) you?
Have you never been (9)
just to hear your song?
Have you never let someone else
be (10)?

Running around as you do
with your (11) up in the clouds,
I was like you.
Never (12) time to lay back,
kick your shoes off, close your (13).
I was like you.
Now you're not hard to (14)
you need someone to (15) your hand.

※ Repeat

資料1

Word Meister 小テスト①

1 年 組 番 氏名 ( ) /10 点

( )内に入る単語を下の[ ]から選んで書きなさい。 1点×10問

その1

(1) 私たちは彼がその魚を捕まえるのを手伝った。
We helped him ( ) the fish.
(2) その女性は何着かのすてきな衣服を手に入れた。
The woman ( ) some fine clothes.
(3) あなたに何か温かい食べ物をあげましょう。
I'll ( ) you something hot to eat.
(4) これらの古い本はずっと取っておく価値はない。
These old books are not worth ( ).
(5) 彼はその手紙を手に取って部屋から出て行った。
He ( ) the letter and left the room.

catch	give	got	keeping	took

その2

(6) 私たちは交替でボートをこいで川を上流に上がった。
We took turns rowing the ( ) up the river.
(7) 「座席についてください。」と彼は優しい声で言った。
"Please take a ( )," he said in a gentle voice.
(8) 飛行機は 20 分後に離陸します。
The ( ) will take off in twenty minutes.
(9) 私は毎日職場に自転車に乗って行く。
I ride my ( ) to work every day.
(10) 私は次の駅で降りたい。
I want to get off at the next ( ).

bike	boat	plane	seat	station

資料2

音読評価シート
(Evaluation sheet for Reading)

1年 組 番 氏名

[評価のポイント]

○ 発音とアクセント
(Pronunciation and Accent)

○イントネーションと流暢さ
(Intonation and Fluency)

計(Total) /5点

(この用紙はアーロン先生に預けて帰りなさい)

A
We use names in our daily lives. Names greatly help us with daily communication. Let's imagine life without names.You are studying at school.

B
Your teacher may say, "Answer the next question, the boy near the door." Or when you are talking on the telephone, you must begin the sentence like:

C
"Hello. This is a young lady speaking."
In these situations, we can avoid problems thanks to names. Now we are going to study about English names.

資料3

インタビューテスト評価シート

1年___組___番 NAME_____

月 日 ( ) 実施

音読 (reading)	3	2	1	0
Q&A (1)	3	2	1	0
Q&A (2)	3	2	1	0
Q&A (3)	3	2	1	0
Q&A (4)	3	2	1	0
Q&A (5)	3	2	1	0
態度 (attitude)	2	1	0	

合 計
/20

資料4

資料7

英語

タイトル：Extraction of penicillin

氏名：Class (3-3) No.

研究の目的・動機など

I am extracting penicillin. ~~The movie was that~~ I was interested in penicillin that appeared in the drama movie "JIN". Also, I wanted to make use of the chemistry techniques I learned in three years. Penicillin is a type of antibiotic that has also been used in the medical field. This time, I investigated what kind of penicillin is extracted from.

研究の内容

First, we created a medium for the growth of mold. I searched on the internet and found that a medium using agar was good. Next, I used bread, blue cheese, mandarin oranges, rice cakes, etc. to investigate how much mold grows. Among them, the one with the most mold was blue cheese placed on bread and stored at room temperature. From there, we were able to extract penicillin using chemicals such as hexane, benzene, and acetic acid.

研究の内容

In this experiment of penicillin extraction, we used chemicals and equipment that we had never used, so we made many mistakes and tried again and again. However, I am glad that the target extraction of penicillin was successful.

資料5

		Group	テーマ	Order	Auditory Effect (10)	Visual Effect (10)	Content (10)	Total (30)
3305		1	アニメ・マンガ	2				
3308		1	アニメ・マンガ					
3310		1	アニメ・マンガ					
3319		1	アニメ・マンガ					
3303		2	日本刀	1				
3306		2	日本刀					
3307		2	日本刀					
3314		2	日本刀					
3301		3	ゲーム	5				
3315		3	ゲーム					
3317		3	ゲーム					
3318		3	ゲーム					
3304		4	ひな祭り	4				
3309		4	ひな祭り					
3311		4	ひな祭り					
3302		5	正月	3				
3312		5	正月					
3313		5	正月					
3316		5	正月					

資料6

Class	Number	Name	Total Marks

Criteria	(Full Marks)	A accomplished	B developing	C need improvement
Submission	10	10		
Volume	10	10	6	4
Content	10	10	6	4
Structure	10	10	6	4
Language	10	10	6	4

企　画　部

部　長　**山　口　隆　子**（武生高校）

●高等学校

第６０回高校英作文コンテスト

期日：９月２５日（土）
会場：各高校
参加：合計 409 名（校内予選を含めると 639 名）
共催：高文連
後援：県教委・福井新聞社

委員長：吉川　長利（高志高等学校）

中井　慶子（奥越明成高等学校）
伊藤美智子（足羽高等学校）
松宮　拓哉（若狭高等学校）
百田　貴哉（若狭高等学校）
蔦　　将愛（武生高等学校）
稲葉百合子（仁愛女子高等学校）
田中　　操（敦賀気比高等学校）

・コンテスト会場を各高校に設けていただきました。ご協力有り難うございました。
・各校の参加者数を制限させて頂いておりますが、それより参加希望者が多い場合は校内選考をされている学校もあります。その際には採点をお願いしておりますが、ご協力に大変感謝しております。

第６１回高校英語弁論大会

期日：１０月２日（土）
会場：福井商工会議所　コンベンションホール
参加：１部 27 名・２部 ７名・３部 ４名
共催：高文連・ライオンズクラブ
後援：県教委・福井新聞社・福井テレビ

委員長：西尾　康弘（科学技術高等学校）

青山　秀樹（福井商業高等学校）
笠松佳代子（丸岡高等学校）
吉田　充宏（高志高等学校）
内田　冬萌（丹生高等学校）
玉村　直美（金津高等学校）
谷口　隆一（福井南特別支援学校）

・感染症対策をふまえた大会運営にご協力いただき、ありがとうございました。
・第１部の１位と第２部の１位が、第１２回全国高等学校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会（三重大会）に出場しました。
・ライオンズクラブによる海外派遣生選考会も兼ねています。各部入賞者の中の希望生徒に後日面接選考会を行い、３人を決定しましたが、その後、派遣事業は中止と決まりました。

●中学校

第６４回中学校英語弁論大会	委員長：園井　圭介（三国中学校）
期日：１０月７日（木） 会場：武生商工会議所 参加：39 名（32 校） 後援：県教委・読売新聞社	和田　祐樹（鯖江中学校） 中島　佑介（灯明寺中学校） 細川　頼久（尚徳中学校） 堀田　　翼（織田中学校）

・感染症対策として２部に分けて実施。交流活動は中止しました。
・上位１名が高円宮杯全日本中学校英語弁論大会（ビデオ視聴）に出場しました。
・今年も多数参加いただきました。熱心な指導を有り難うございました。

中学校英語セミナー（中止）

新型感染症対策を行った上での実施は難しいと判断し、各地域のセミナーを中止としました。

◆高校英作文コンテスト委員会

第６０回福井県高等学校英作文コンテスト

委員長　**吉　川　長　利**（高志高校）

今年度は、昨年に続き新型コロナウイルスの影響により、学校での様々な行事が中止となったり、オンラインでの開催となったりしました。英作文コンテストにおきましても、実施に際しましては、事前の検温やマスクの着用を呼びかけていただいたり、教室の換気に気を配っていただいたりと、様々な点でご協力をいただきました。そのような困難な状況の中、おかげさまで何とかコンテストを実施することができました。各学校の先生方をはじめ、関係者の皆様方にまずは心より感謝の言葉を申し上げたいと思います。

さて、今年も語彙力の差によらない生徒一人一人の個性、創造性、独創性で訴えられる作文を書いてもらえるような出題内容に努めました。高校生らしいユニークな切り口の作品や、物事を真剣に考えて意見をしっかりと展開している優れた作品が数多く集まりました。

出題形式別に振り返ってみますと、Ａ部門では高校生らしく実体験に基づいた内容が見られました。今年度本県でインターハイが開催されたため、その時の経験から多くのことを学んだことや、今後の人生にそれらを活かしたいというような前向きで積極的な思いが表れており、読んでいる方も元気をもらい心が温まりました。

Ｂ部門は、今年も読んでいて楽しく、奇抜な発想と豊かな創造力が発揮された優れた作品が数多く寄せられました。魔女の絵からは、魔女の作り出す不思議な力をもつスープによって人間にさまざまな働きかけが行われる等、魔女と人間の関わりを描いた作品が多く見られました。また、男性と４つの感情の顔が重なる絵からは不幸な過去を持つ男性が、新しい出会いによって人生が開かれていくというようなハッピーエンドの作品が印象に残りました。いずれの絵の作品も、登場人物のやりとりがおもしろく、感情移入のしやすい、読んでいてストーリーに引き込まれる作品でした。毎年のことながら、Ｂ部門に参加する生徒の発想の豊かさと創造力には感服させられます。

Ｃ部門においては、今日の社会問題について問われた３つの課題について、賛成・反対それぞれの立場から様々な意見が述べられていました。中でも「同性婚」についての課題は、最近新聞やテレビで取り上がられることが多い話題のためか、性の多様性についてよく理解した上で意見を述べていることが感じられました。他の二つの課題においても、人々が互いに尊敬し合い、より良い社会を築いていきたいという思いが伝わってきました。学校においては、日頃から主体的に深く考えたり、情報を整理して分かりやすく相手に伝えたりするような活動が取り入れられてきているためか、よく練られた具体的な意見の述べられた作品が多数ありました。

コンテストの開催におきましては、各校の英語科の先生方には準備の段階から実施、発送にいたるまで多大なるご協力をいただいております。開催の過程で些細なことでもお気づきのことがございましたら、事務局までご連絡ください。今後ともコンテストの発展のためにより一層のご指導をお願いして今年度の報告にかえさせていただきます。

＜実施要項＞

主　　催　　福井県高文連英語部会
　　福井県英語研究会
後　　援　　福井県教育委員会
　　福井新聞社
　　ＮＨＫ福井放送局
協　　賛　　財）げんでんふれあい福井財団
趣　　旨　　本県高等学校生徒の英語力の向上を図り、その発表力を高めることを目的とする。
日　　時　　令和３年９月２５日（土）
　　午後１時３０分から３時まで
会　　場　　県内各高等学校

＜実行委員＞

【委 員 長】　吉川　長利（高志高）

【実行委員】　中井　慶子（奥越明成高）　伊藤美智子（敦賀高）
稲葉百合子（仁愛女子高）　田中　　操（敦賀気比高）
百田　貴哉（若狭高）　蔦　　将愛（武生高）
Aaron Dickson（武生工業高）　Tanya Jn Baptiste（丹生高）
Viwe Siwisa（芦原中）　John Hagley（鯖江中）
Ryan Thornton（羽水高）　Mary Antonette Arayata（鯖江高）
William Moore（武生商業高）　Jake Gertz（勝山高）
Simon Woodgett（義務教育課）

［入賞者一覧］

		最優秀受賞者	優秀受賞者
A部門	１年	安　藤　慎　悟　（若　　狭）	該当者なし
	２年	墨　﨑　七　海　（坂　　井）	黒　川　來　夢　（武生商工）
	３年	加　藤　弘　喜　（科学技術）	石　田　愛　美　（坂　　井）
B部門	１年	北　方　結　女　（敦賀気比）	山　口　ア　ナ　（足　　羽）
	２年	佐々木　悠　羽　（丹　　生）	恵　美　桃　佳　（武　　生）
	３年	黒　川　紗　弥　（仁愛女子）	水　島　美有莉　（丹　　生）
C部門	１年	有園　ガブリエレ　（足　　羽）	揚　原　桃　花　（藤　　島）
	２年	清　田　サユリ　（足　　羽）	奥　出　はるの　（仁愛女子）
	３年	小　川　百　音　（武 生 東）	定　池　　菫　（仁愛女子）

［参加者数一覧］

会　場	１Ａ	２Ａ	３Ａ	１Ｂ	２Ｂ	３Ｂ	１Ｃ	２Ｃ	３Ｃ	合計	校内選考会を含む数
大　　野				2	3		2	2		9	9
藤　　島				2	3		10	4		19	19
羽　　水									9	9	9
福井商業				3	4		16	7		30	34
仁愛女子					4	3	2	10	7	26	26
北　　陸								2		2	2
三　　国					1			1		2	2
坂　　井		17	19							30	30
丸　　岡								27		27	27
科学技術			8							8	8
足　　羽				5	2	8	5	5	5	30	51
鯖　　江				1		2		4	11	18	18
丹　　生					11	6		4	9	30	75
武　　生				4	11		8	7		30	65
武生商工		1								1	1
武生東				4	3	5	2	7	9	30	149
敦　　賀				2	10			14	1	27	27
美　　方				8	7		4			19	19
敦賀気比				11	6		9	3		29	29
若　　狭	1			1	3		1	22		30	36
若狭東		1	2							3	3
合　　計	1	19	23	43	69	24	59	119	51	409	639

足羽、福商、丹生、武生、武生東、若狭は校内選考会を実施している。校内選考会を含む数とは校内選考会に参加した生徒全員の数。

［各部門最優秀作品］
１Ａ部門最優秀作品

Effort is important

Shingo Ando
Wakasa High School

My favorite words is Ichiro said, effort going on is only road that can go to great place. I think that words very good because I think Ichiro have played base ball for long time. So he words feel heavy. And, this words feel great. I respect Ichiro because I hear this words, but only cause does he is very great. Then, for example I have played syuji since 10 years. So, I feel this words mean. And I think effort continue is very hard because effort is not end. For example, base ball practice and practice is very nice player but If don’t effort, return normal player. This is very terrible because effort continue is very hard. But it’s can do just a little easy If friends or family support because friends and family important. For example, “You can do it!” “Go!” “Keep it up!” there is gave very power. And, not only support a way. For example, your family makes you obento because family and friends important. Of course, not this only support a way.

Effort is very important but, only effort do is tired and my body break because take a short break once a while. So continue effort a very long time that is very great. I’ll do better from now on.

２Ａ部門最優秀作品

Studying with my friends is a lot of fun

Nanami Sumisaki
Sakai High School

I think it is important to study at school with friends, not to study online. I have three reasons.

The first reason is being able to meet friends. It is more fun to study with friends than to study alone. I lose concentration when I study at home, but I can concentrate on studying with my friends. Also, I feel better if I can talk with my friends. Being able to meet friends makes me happy.

Secondly, you can improve your communication skills by studying with friends. The more communication you have, the more fun it is to talk to people. You can make people smile by talking and you can make a lot of friends. I was not good at talking to people because it was embarrassing. But now, I enjoy talking with many friends. So, I have a lot of friends. Communication will be important in the future. It will be advantageous in interviews and in the work place. So, it is very important to talk to many people and improve our communication skills.

The third reason is being able to ask about what you do not understand directly. It is important to be able to understand what you are not good at. It is good to review with friends. Communication is important here as well. I think some people find it embarrassing to ask. When you cannot ask questions, you cannot solve problems. There is no loss in asking questions even if you think that you will not use it in the future. So, it is better to study at school than online.

３Ａ部門最優秀作品

Power of Support

Hiroki Kato
Kagakugijutsu High School

Support. It's something magic that empowers you. It's not a specific word or phrase, but I can be encouraged by it.

For example, this summer vacation, I had an inter-high school athletic meeting in Fukui. And I participated in a bicycle race. I participated in a road race, and after a while there was an accident that I dropped off. I was caught up in it and couldn't shift gears. It echoed, and there were times when I was running alone, away from the group. At that time, my motivation dropped and the difficult situation continued. However, I was able to run hard again with the support of the spectators and teammates on the road. I couldn't reach the goal, but I felt a sense of accomplishment because I was able to run hard again. I'm not convinced that it's the last race in high school, but I realized that it's an inter-high school athletic meeting only with the support and support of the people around me. At the same time, I was very grateful for the event.

Through this event, I realized that I would be grateful and powerful for my support. I plan to continue the competition in the future, so I would like to support myself this time when my teammates are doing their best to run.

１Ｂ部門最優秀作品

A Blind Woman and A Masked Man

Yume Kitakata
Tsuruga Kehi High School

I have never shown anyone my face. Since I was born, everybody has been saying, "Your face is ugly" and laughing at my face, and even my parents have. Then I have been hiding my face in a mask.

One day, I found a woman squatted down on my way home from work. She looked in some kind of trouble, so I talked to her. "May I help you?" She looked back and said, "Actually, I dropped my cellphone. I'm looking for it." I was just surprised that she wasn't surprised at my masked face. I looked around us. Then I found it was just under her. "Why couldn't she look for it?" I thought and I picked it up. "Here you are." "Oh, thank you very much," she said and bowed down next to me. I was surprised again and wondered that she was blind. I asked her, "Maybe, are you blind?" "Yes. I lost my sight when I was a child. I'm sorry that I was not able to see your face." She said and smiled. I didn't know what to say, but I found that I came to like the beautiful blind woman.

Since that day, I talked with her every day. But I hid my face the whole time. My feeling for her became bigger and bigger. Finally, I decided to tell her about my face. "Do you remember that you said to me, 'I'm sorry that I couldn't see your face.'? Actually, even if you are not blind, you can't see my face. I am hiding my face because I hate my face. I'm sorry to keep hiding it."

The woman was surprised, and smiled. "Even if you don't like it, I like your face. I like your voice. I like everything about you. You have a very tender heart. I love you." I found that I was in tears. I couldn't stop it. "I love you, too. Thank you for your message."

After that, I took away my mask. I have come to like myself. We are going to spend the same time forever.

２Ｂ部門最優秀作品

Feeling Shop

Yu Sasaki
Nyu High School

There was a shop which deal in feelings. Every feeling such as happiness, anger, and sadness are dealt in the shop. The number of people who visit the shop was not small.

One day, a woman visited the shop. She searched for a love. She couldn't get it, but she could find a love feeling. She bought it and left the shop cheerfully.

Other day, a boy visited the shop. His purpose was not to buy but to sell. He wanted to sell sadness which was caused by dying of his dog. Of course, owner could buy it, but she refused. She said, "Sadness is very important for you. Keep in your mind." The boy left the shop.

One day, a man visited the shop.

"Hello. Which feeling do you want?" the owner said.

"I don't know." he said.

"You don't know?"

"Yes, I want something because I have no feeling. But I don't know which feeling I should have."

"…OK, let's look for it."

Owner said so, and show him into the shop. He tried various feelings.

"How is this?"

"No, I want something warmer."

"Is this?"

"No, it's too warm. I want…"

They repeat questions and answers. About one hour passed, they found one feeling. He tried it and said,

"I feel nothing from this. What is this feeling?"

"It is curiosity, Mr. You said you feel nothing. It means you have already had this feeling."

"Oh, really? Wait, somehow my heart is becoming faster."

"It must mean you feel glad or happy. You could get feelings."

"I could…. This is very wonderful! I'm glad. I'm very happy! Thank you very much!"

"You're welcome. I'm glad help you to get feelings."

"Ms., may I come here again? This is very interesting place."

"Yes, of course. Please come again."

Then, the man left the shop. He looked so happy and he is probably happy now.

The shop is in somewhere. It may be near your home, or foreign seaside. If you open the door, the owner will say,

"Hello. Which feeling do you want?"

３Ｂ部門最優秀作品

A man with no face

Saya Kurokawa
Jin-ai Girls' High School

The moment I wake up, I feel sore on my back. I murmur to myself that I slept too much. It's windy today. The shed I live in is so shabby that it is rattling. I don't dislike my shed. It's not suitable if I want to invite someone, but it's comfy enough for me to live by myself. I have neither a family nor a friend. So, I don't need a house everyone dreams to live. I stand in front of a wall. On the wall, there are four pieces of paper. On the paper, four kinds of faces are drawn, a smiling face, a mad face, a crying face and a black face. I wonder which paper I should put on today. I choose a black face. It is my normal life. But today is not "normal".

I hear a knock on the door. It is weird that someone visits me. Nobody ever visits me. I open the door deliberately. A boy is standing there. The boy looks at me. I'm speechless because I don't understand this situation. When I try to say a word, the boy opens his mouth and says, "Let me inside." I'm confused but I don't any reasons to turn down him, so I let him inside. He jumps up a sofa and says to me "Let's play cards." I get more confused but I try to behave calmly and I say "Do you know me? Have I met you somewhere?" The boy doesn't answer my question but says "Anyway, let's play a game." with eyes moist with tears. I can't help but I play with him. While we play a game, the boy talks a lot. He talks about his exciting school life, his friends, and his adventure. I spend fun time with him. The mouth behind the paper is smiling. I find myself smiling. I remember my fun memories with my wife. I identify the boy with my wife. His way of laughing resembles my wife. She's gone. We used to live our happy lives. I was thinking that I didn't need anything other than her when I was with her. She died of cancer ten years ago. I've lost the purpose of living since she had died. I no longer show my feelings. So, I choose a face every day. Today is different from my usual life. Crows are coming outside. The boy stands up and says, "I have no home now." I'm sad and I don't him to leave here. I say, "No. A little bit longer, please." The boy looks back and he puts his right hand on my cheek and he gently takes the paper on my face off. He shows me a big smile but somehow he looks sad. He whispers, "Smile. You look best when you are smiling." Soon he fades. I'm left alone in a silent room. After the moment, I realize. The boy must be my wife. She came to me to cheer me up. A teardrop falls from my eye. But I don't cry anymore instead. I make a smile. I murmur "Oh, that was you."

I wake up and have a cup of tea. His normal life doesn't seem to have changed, but there is one difference. A smile is on his face.

１Ｃ部門最優秀作品

Love is love

Arizno Gabriele
Asuwa High School

I think that same-sex marriage should be allowed in Japan. These days there are still many countries that don't allow same-sex couples to marry, or even worse, prohibit same-sex couples to exist. Prohibiting people to love who they want, in my opinion, is a way of taking their human rights from them.

Since long ago many animals have been having same-sex relationship and us humans are not different. However, mostly because of religion, people have been hiding about who they truly are. Unfortunately, many religions think that homosexuality is a sin that should be punished and that increased the number of people who are homophobic. Because of homophobia many people from the LGBTQ community have been suffering from constant bullying, being expelled from their own house and, sadly, many of them end up committing suicide.

I grew up on a Christian family, so I have always been told that dating people of your same sex is wrong and believed it because it was what my family and my faith were telling me. Then, I started watching TV, using the internet and I understood that it was not true. Of course, at the beginning I was a little skeptical, I didn't know what I should believe. After a while of trying to learn more about the LGBTQ community I understood that people should be allowed to love who they want.

Learning more about the LGBTQ community I found out that many queer people didn't have some role model to follow. Until some years ago, the majority of people had homophobic thoughts so, same-sex couples didn't appear in any kind of television show, magazines and so on. Thankfully, our society as evolved enough to accept queer people in their lives.

Imagine you being part of the LGBTQ community, being bullied every day because you are being exactly who you are, struggling on knowing where your place is in the world and not being able to love who you want. It is not easy. Thankfully, there are now many support groups if you are struggling with these problems. People should not suffer in silence.

For the reasons above I think that same-sex marriage should be allowed not only in Japan, but also in every other country in the world, because no matter what language you speak, no matter what's your race or where you are in the world, it all comes to one thing, love is love and it will always be.

２Ｃ部門最優秀作品

Everyone should have the right to be happy

Sayuri Kiyota
Asuwa High School

Since the beginning of the humanity, people believed that relationships were only acceptable between a man and a woman.

Do you why this homophobic idea was implanted in people's head? Well, I can't confirm to you the exactly reason that people made of this a kind of rule, but one of the most popular stories that most of us have heard about is the Bible.

Adam and Eva are a story written among the hundred's other ones on Bible.The story itself is about the first that through his own ribs, God created a female partner for him Eva.

Based on this, great part of Christians started to believe that id God specifically created Eva, a woman for Adam, a man that was how people should follow.

I can't not judge what people believed in the last centuries, actually I understand why they believed in that. People in the past were definitely not as advanced as us about information and technology. They didn't have these amounts of scientists, researches and sources that we eventually have. In that age, if anyone stopped you with an information, your only option would be believed.

However, we are not living in the past centuries, and we are not as same as our ancestors.

World had a huge evolution through the years, and now, in the 21st century it is not acceptable that there are people who feels the right to get involved who others people are getting married to.

One important fact, that I feel that homophobic people don't think about is that no one choose their sexualities.

People were born as they were supposed to, and to one in the world should be embarrassed of who they are or who they like. Everyone has the right to love.

I get happy to know that our generations are becoming everyday more and more with the mind open and with our fights they won't have to deal with this kind of issue.

Love someone isn't supposed to be a crime, a so pure feeling should absolutely not be so judged.

So with all my heart and soul I agree that same-sex marriages right should be rechecked and allowed not only in Japan bur in the whole world.

３Ｃ部門最優秀作品

Human diversity

Momone Ogawa
Takefu Higashi High School

I strongly believe that Japan should allow same-sex marriage. I have two reasons why I think so.

To begin with, same-sex couples can get many rights. For example, if a person enters the hospital because of a disease or injury, the person's partner, who is the same sex, cannot get the person's safety information and is even refused to meet because they are not legal family. Also the same-sex partner cannot join his partner's funeral. It's also because of not having a legal family. In most cases all people will want to stay by their lover's side as long as possible. However, same-sex couples are not allowed that natural thing. I think it's unequal.

Secondly, we can reduce the number of suicides. Now, many homosexual people are suffering from a lot of discrimination and prejudice and some people kill themselves because they feel that it is painful to live in the world. Also even if they meet a same-sex partner, they will continue to be afflicted by society. Why do they need to suffer just because they love someone of the same-sex? They just love one person like people who love a person of the opposite-sex. I don't think that there are differences between them. If Japan allows same-sex marriage, it means that Japan proves that homosexual people are usual, not unusual. Then, all people in Japan will change their negative opinions toward homosexsual people and they will be able to live happily without hiding their sexuality.

However, maybe some people worry that when Japan allows same-sex marriage, the population of Japan will decrease because they cannot conceive naturally. In fact, it is not true. America has allowed it for a long time, but the population of America has not decreased. It is rather increasing because the number of people who kill themselves are decreasing thanks to legal same-sex marriage. Same-sex marriage makes more people in the country happy.

Now, in Japan, some politicians say, "they cannot make babies. The most important thing is saving as many offspring as possible." However, I don't think that the value and usefulness of humans is saving offspring. All people have a right to be happy with their lover. Each person has their nature. It is natural for someone to love a opposite-sex person and it is also natural for someone to love a same-sex person. Today, people who love same-sex people are a minority. But, all people have both the majority side and minority side in our personality. So we must not judge the person by only gender and sexuality. It is important that people on the majority side understand and accept people on the minority side, and vice versa. Understanding human diversity is one step to make our world a better place.

◆高校英語弁論委員会

第６１回福井県高等学校英語弁論大会報告

委員長　**西　尾　康　弘**（科学技術高校）

昨年に引き続きコロナの感染状況が社会に大きな影響を与える中で、県高校英語弁論大会が令和３年（２０２１年）１０月２日（土）、福井商工会議所にて開催されました。

県高校英語弁論大会は例年１０月の第一土曜日に設定しています。今年は５月頃から準備を始めましたが、東海北陸ブロック大会、全国大会の状況を窺い、どちらかの大会でも中止になれば県大会も中止になる可能性があると考えていましたし、オンライン大会になるのであれば県大会もそれに準じてオンラインでの開催を準備しなければならない、とも考えていました。その後、昨年度は延期が決まった東京オリンピックが無観客で開催されインターハイや夏の高校野球選手権が制限のある中で開催されたとはいえ、６月以降は第５波と呼ばれる厳しい状況が続きました。弁論大会の準備が本格化する中で昨年度以上の感染対策で準備しながらも、本当に１０月の初旬に開催できるのかと常に憂慮しなければならない状況でした。委員会でも、昨年まで１日かけて行っていた大会を、密集を避け間隔を十分取るために、午前と午後の参加者を分け半日ごとの分散開催としました。来場者の人数も制限せざるを得ず、例年なら保護者やＡＬＴも参加・観覧できたのですが今年度は各校１名の引率者のみとしました。さらに、参加者・引率者には、２週間前より体調チェックの用紙に毎日記入し当日に提出するよう依頼しました。例年なら閉会式で行う表彰も、翌週月曜日に結果をメールで連絡し賞状等を発送することで表彰式に代えました。ここまでの準備をしても、正直なところ不安は拭えませんでした。

会場については昨年度見直しを行い、それまでの国際交流会館の多目的ホールから武生高校葵講堂に変更しました。さらに本年度はバリアフリーの点も考慮し、年度当初予定を再検討してその時点で開催可能な会場を探した結果、福井商工会議所地下コンベンションホールでの開催となりました。会場が広く参加者の間に十分な間隔が取れましたし換気も十分で、会場としての使い勝手は申し分ありませんでした。来年度以降は、状況を見極めながら会場を選定する必要があると思います。

審査員の確保については、例年通りいくつかの大学や短大、高専のこれまでに経験のある先生方を中心に依頼を進めました。また ALT 審査員についても例年通りボランティアでお願いしました。それぞれの状況や制約の中で、審査員を引き受けていただけたことにはスタッフ一同大変感謝しています。

今年の大会では、第１部に１５校から２７名、第２部に４校から７名、第３部に４校４名の参加者がありました。部門ごとの増減はありますが、全体の参加人数はほぼ例年通りでした。今年の内容はＳＤＧｓ関連の内容が目立ち、やはり高校生は情報に対する感度が高いという印象を受けました。また、家族や周囲とのつながりや、社会の事象を人ごとではなく自分事として捉えているものもありました。後掲の優勝者原稿もご覧下さい。

最後になりましたが、人間で言えば還暦を過ぎ新たな段階へと進む第６１回大会は、大会を振り返る頃には感染状況は大きく改善したとはいえ、多くの困難な状況の中で多くの方々からご協力とご支援をいただいた結果開催できたとつくづく感じています。困難な状況の中でもしっかりと準備して大会に望んだ出場者、その指導に当たった指導者、当日の引率者、会場関係者、審査員の先生方、いろいろと無理を聞いていただいた春江坂井ライオンズクラブの皆様、そして弁論委員会のスタッフの先生方に対し、心より御礼申し上げます。また、本来なら当日参観してもらえるはずだった保護者やＡＬＴに対して、ご理解ご協力いただいたことに感謝しています。来年度は何の制約もなく多くの方に見守られながら、この大会が開催されると良いと考えています。

１．大会要項

第６１回福井県高等学校英語弁論大会

１．主催　　福井県高文連英語部会　　福井県英語研究会
　　ライオンズクラブ国際協会３３４－Ｄ地区５Ｒ
２．後援　　福井県教育委員会　　福井新聞社　　福井テレビ
３．日時　　令和３年１０月２日（土）　午前９時３０分より
４．会場　　福井商工会議所　コンベンションホール
５．委員・審査員
　　委　員　　◎西尾　康弘（科技高）　青山秀樹（福井商高）　山口隆子（武生高）
　　笠松佳代子（丸岡高）　谷口隆一（福井南特支）　内田冬萌（丹生高）
　　吉田　充宏（高志高）　玉村直美（金津高）
　　審査員
　　１部　渡邉　　綾（福井大学）　Simon Woodgett（県庁）
　　村　　香織（福井高専）　Isaak LeHew（明道中）
　　２部３部　吉田　三郎（敦賀市看護大）　Melissa McCoy（奥越明成高）
　　野本　尚美（仁愛女子短大）　Iram Amin（明道中）
６．本年度（令和３年度）参加者数

部　門	参加人数	参　加　校
第１部	２７	金津、大野、藤島、高志、足羽、福井商業、道守、仁愛、鯖江、武生、武生東、丹生、敦賀、敦賀気比、美方　１５校
第２部	７	藤島、仁愛、武生東、道守　４校
第３部	４	福井農林、福井商業、武生商工、福井東特別支援　４校
合　計	３８	１８校

７．表彰
　　第１位、第２位、第３位…賞状、トロフィーまたは盾
　　優良賞…賞状のみ　　※優良賞　　各部門参加者の半数程度
８．海外派遣生
　・入賞者の中から若干名、ライオンズクラブが海外派遣生を選びます。
　・派遣は来年度の夏休み中、約２週間～１ヶ月の予定です。
　・地域によって年齢条件が異なります。
９．参加資格附則　　１部、２部の部門は全国大会の参加資格に則っております。
　　１部は次の (a) (b) (c) に該当しない生徒
　　２部は次の (a) (b) (c) に該当する生徒や１部の有資格者だが２部に出場したい生徒
　　３部は英語の三年間の必修単位数が１２単位以下の生徒

(a) 満５歳の誕生日以後に、通算１年以上または継続して６ケ月以上、英語圏（英語を第一言語、または公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。
（英語圏詳細については全英連ホームページ参照。）

(b) 日本国内、海外を問わず、６ケ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。

(c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。

２. 入賞者

部　門	賞	氏　　名	学　校	学年	演　　題
第１部	１　位	山本　実波	仁愛女子	2	Don't Be Ashamed
	２　位	髙島　凜花	藤　　島	2	The True Meaning of Help
	３　位	富田　梨真	武　　生	1	Another Choice You Can Make
	優良賞	岩淵　佳恵	大　　野	2	Being Unque
	優良賞	姉﨑保乃香	丹　　生	1	They Are Waiting for Their Owners
	優良賞	野嶋　萌絵	仁愛女子	2	Passion toward Fashion
	優良賞	山田　殊子	藤　　島	2	THINKING Is the Primary Step to Change Our Lives
	優良賞	髙木　優花	美　　方	1	Just One Conversation
	優良賞	鮎川　文音	大　　野	2	Loving My Father
	優良賞	孝久　林檎	丹　　生	1	The Earth Is Crying Now
	優良賞	松田　桃佳	福井商業	2	Finding Happiness in the Success of Others
	優良賞	トゥ　アイン	道　　守	2	One of a Kind
第２部	１　位	重野　香澄	武生東	1	Time with Family
	２　位	木下　莉子	仁愛女子	3	A Beautiful Bag of Jellybeans
	３　位	安野　光咲	藤　　島	2	Beating Smartphone Addiction
第３部	１　位	岡野萌乃香	武生商業	3	My Breakthrough
	２　位	堂腰　博絵	福井東特別支援	2	My Life in the Wheelchair
	優良賞	今村　心愛	福井商業	2	Save Animals - The Easy Way
	優良賞	木戸　泉里	福井農林	1	Where There's a Will, There's a Way

３．優秀作品
第１部第１位

Don’t be Ashamed

YAMAMOTO Minami
Jin-ai Girls’ Senior High School

One million yen. What would you do with this money? You could help a woman because that amount is the lifetime cost of a woman’s period. Now, have you ever heard of *period poverty*? It’s a situation of poverty that causes an inability to buy sanitary products. Recently, this shameful has been in the news and media.

Women use sanitary napkins or tampons when they’re having their period. They have to change them every few hours and sometimes take painkillers to relieve period pain. In addition, they need to buy sanitary shorts. Women with sensitive skin use expensive sanitary napkins. There’re various kinds of sanitary products and the cost adds up.

In 2017, a survey of period poverty was conducted in Britain. 10% of respondents answered they couldn’t buy sanitary products. Also, 12% of them used tissues, kitchen towels, or socks instead of them to save money.

Sanitary products must be bought every month. It’s not a choice unlike other things such as cosmetics, new clothes, or a smartphone. Women must make sure they have enough money and some are worried every month if they will have the necessary funds.

Today, more and more women are worried about it. One of the reasons is COVID19. As the unemployment rate increased, problem of poverty became more serious. To help this problem, on November 24th, 2020, a law was passed in Scotland to provide free sanitary products. It was first law of its kind in the world. Its purpose is to end period poverty. Thanks to it, it became a duty to provide free sanitary napkins and tampons in the restrooms of schools. Ailey Graham, a young woman who promoted it, was a third-year high school student at that time. She said, “I’m happy that they are provided. That’s a very big thing. I was relieved so much.”

Period poverty, however, isn’t just about money. For example, period poverty influences women’s education. Many young women face it at schools. I experienced it, too. I’ve given up changing a sanitary napkin to attend class. However, I was nervous and couldn’t concentrate on the lesson. Also, my friend couldn’t go to school because she had severe period pain. When I get my period suddenly, I’m very troubled. I borrow sanitary napkins from my friends then. I’m relieved not to get my clothes dirty.

Finally, I’d like to address the issue of shame. Many women think that it mustn’t be known that we’re having our period. They are ashamed to get their period. In Ailey’s case, her father didn’t buy sanitary products for her because he thought it was shameful. Being young and not having money of her own, the new law really saved her. I wonder how many young women like her are living in Japan right now.

The social and economic environment surrounding a women’s period must be improved, not only for women, but also for men so that they can accept it more easily. Your children, your wives, your friends and your colleagues are worried. We should make a secure society for both women and men. Don’t be ashamed. Let’s make such a world together!

第２部第１位

Time With Family

JUNO Kasumi
Takefu Higashi High School

Do you think spending time with family is important? Maybe some people say “Yes”, but some people say ”No.” Today I’m going to talk about the time spent with family. So please listen while thinking of this question.

First of all, I’ll talk about my experience. When I lived in Germany, I spent most of my time with my family except the time at school. We always had meals together and on weekends, we often went shopping, traveling, cooking something, and played games together. This was common to my friends in Germany as well and they enjoyed their time with their families in their own way. However, when I came back to Japan, I was very surprised. Because most of my friends said that they don’t spend time with their family like me. I asked them “Why? How do you spend your weekends or free time?” They said, “I usually hang out with my friends or stay at home and do something alone.” Surprisingly, you can see the difference between Japan and Germany. I wondered why this difference happens.

Let’s compare Japan and Germany. In Japan, about 30% of the people spend time with their family and about 70% of the people spend it with friends on weekends or during free time. The biggest reason for this is that Japanese people work too hard. Most of the people work overtime and some people go to work on weekends. So, overworking leads to the children being unable to spend time with their parents therefore, the time spent with friends will increase.

On the other hand in Germany, about 80% of the people spend their weekends and free time with their family and about 20% of them spend it with their friends. In Germany there’s law that employees cannot work over eight hours a day, and German people put their family before their job. Also, on Sundays, all of the stores are closed, so people eventually enjoy their time with their family. I think the difference is made by the country’s views on family.

So, what will happen if we were to spend time with family? It’s very likely that the communication will increase, so we can know each other more and make good relationships. From the good relationship we have, we can help each other when we have a hard time and freely express our feelings. It’s also possible that we could see the bad aspects of each other. But I think that’s one opportunity to deepen the bond between family members. Because perhaps, those bad aspects could only be known by communicating. For me, family is something that I can never take for granted. Now we can live comfortably because our parents are there. I think we should remember the importance of family so that we can understand each other’s happiness and fears.

Even though people like to spend time with their family, some people say that they don’t have time to do so. It is true that it’s hard to spend time with family because everyone has their own schedules. However, I think it’s important to try to find and make time when everyone can be together. Maybe it’s a good idea to make a small family rule. For example, my family rule is to have meals together and have communication. This small idea can make a difference.

Now, did you find the answer for the question I asked in the beginning? “Do you think spending time with your family is important?” From this speech what I want you to do is to think of the importance of family and try to spend more time with them. I hope my speech will inspire you to have a better connection with your family.

Thank you for listening.

第３部第１位

My Breakthrough

OKANO Honoka
Takefu Commercial High School

Have you ever felt alone? When I was a first grader, I couldn't talk to anybody and I was always alone. I was bullied in elementary school and junior high school and the terrible experiences made me afraid of communicating with others. I was a member of the table tennis club at that time, but I didn't enjoy doing the club activity with other members.

One day I had a traffic accident. I was hit by a car and fell to the ground. Someone called an ambulance and I was taken to the hospital. Fortunately enough I survived the accident, but I injured my wrist and waist and because of its aftereffect I began suffering from dull pain and paralysis in the lower part of my body. I couldn't play table tennis as well as before. I was at a loss what to do. "Can I not play table tennis anymore? I can't think of my daily life without the club activity. I do not want to say good-bye to my teammates." Why did I feel that way? Because they were so friendly to me even though I was speechless.

I went to see the club advisor. He listened to me carefully and gave me advice. "Why don't you stay in the club as a care-taker, Honoka? I think you should stay for the other members and for you, yourself." So, I decided to stay.

I became a second grader and we welcomed new junior members. I remembered how much I would miss them if I had to leave the club, so I made a decision to talk to them. First, I talked to younger people. When I was small, I was somehow popular with younger kids, probably because when I was asked to play together, I always said "Yes." Little by little I became friends with them and I gained more confidence in myself.

Last year because of Covid-19, school was closed for about three months. We'd never had a time like that when we couldn't see each other face to face for that long. We missed each other so much. So when school restarted, I was determined to talk to my classmates. I spoke to them before my shyness stopped me and I could do it! I talked to them and they talked to me! I realized my true personality. I am open, positive, and willing to communicate with others. I was happy to listen to the voice in my heart.

Ever since I took a leap of faith, and trusted in myself, my life has totally changed. Now I am truly enjoying my school life. I learned that courage is within us all, and we just have to let it out.

◆中学校英語弁論委員会

第６４回福井県中学校英語弁論大会報告

委員長　**園　井　圭　介**（三国中学校）

去る１０月７日、無事に第６４回福井県中学校英語弁論大会を終了することができました。各校ともに学校祭や秋季新人大会によりご多忙な中での校内選考や発表準備となったと思います。今年は３９名の参加となりました。全参加者の中には２年次に各地区の英語セミナーや英語留学プログラムを経験した生徒が多いように思われ、各地区の先生方のご尽力を感じました。各校の先生方をはじめ、関係者の皆様に心より感謝の言葉を申し上げたいと思います。

さて、今年の発表者の内容について見ると、新型コロナの話題やそれをプラスに捉えて前向きに生きていこうと言うメッセージの発表などもあり、興味深かったです。また、ジェスチャーやパフォーマンスよりも内容重視の主張が多かったように思います。

優勝を勝ち取った武生第一中学校の湯川アユミさんは彼女の幼少期から抱えていた問題について熱く自分の思いを表現してくれました。自分の経験を生かして医師を目指すという志が強く感じられました。

２位となったウエダマリアさんは日本に来た頃からの辛い経験を話してくれました。差別に対しての強い思いを感じさせる内容でした。同じく２位となった神谷晃生くんは身近なフードロスの現状と解決策について発表してくれました。真剣に考え、行動に移す重要性について熱心に話してくれました。

この他にもユーモア溢れ、会場の雰囲気を明るいものにしてくれた発表も多く、関わっていただいた先生方のご尽力が伝わってきました。今年度は午前、午後の２部構成とさせていただきましたが、皆様のご協力のお陰で、スムーズに進行できたと感じております。ありがとうございました。優勝の湯川さんは１１月２５日の高円宮杯全国大会英語弁論大会（ビデオ審査）に参加しました。結果、１７位入賞という成績でございました。

今年も英語弁論大会の運営にご協力頂き、ありがとうございました。

【入賞者】

優勝	湯　川　アユミ（武生第一中学校）	Disease is not an excuse
２位	ウエダ　マリア（武生第一中学校）	The way I've lived
２位	神　谷　晃　生（進明中学校）	Take Action Now

放送テスト部

部　長　**栗　田　由紀枝**（森田中学校）

日頃より英語放送テスト部の活動におきましては、ご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。おかげさまで今年度も全公立中学校（20,000 名余り）と、多くの高校（2,500 名余り）の生徒のためにご採用いただきました。

今年度、本部会では３名の新規部員を迎え、29 名のメンバーで活動しています。また、部員の先生方、働き方改革が推進される中、問題作成に多大なる協力をいただくことで放送テストが発行されています。新指導要領に基づき 2021 年度版 NEW HORIZON に改訂されたことを踏まえ、小学校からの接続を意識して問題を作成しております。

１．令和３年度　各問題の出題範囲・発行回数・発送日

各問題の出題範囲（A，B，Cの出題範囲は東京書籍2016 及び2021年版 NEW HORIZON に準拠）

種別	対象（発送日）	第１回（5 月中旬発送）	第２回（11 月初旬発送）	第３回（1 月初旬発送）
A	中学１年生	NEW HORIZON 1 P.4　Unit0 Welcome to Junior high School ～ NEW HORIZON 1 P.36 Grammar　for Communication 2 名詞	P.37 Unit 4 Friends in New Zealand ～ P.76 Grammar　for Communication 5 代名詞	P.77 Unit 8 A Surprise Party ～ P.121 Stage Activity 3 My Favorite Event This Year
B	中学２年生	2016 NEW HORIZON 1 P.122 Daily Scene 7 絵はがき　～ 2021 NEW HORIZON 2 P.51 Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	P.52　Let’s Read 1 History of Clocks ～ P.82　Let’ s Listen 5 留守番電話	P.83 Unit6 Research Your Topic ～ P.121 Stage Activity3 My Favorite Place in Our Town
C	中学３年生 高校１年生	2016 NEW HORIZON 2 P.110 Daily Scene 7 買い物　～ 2021 NEW HORIZON 3 P.34 Let’s Listen2 講演	P.35　Unit 3 Animals on the Red List ～ P.88 Let’ s Listen 5 世界で働く人への インタビュー	P. 89　Unit 6 Beyond Borders ～ P. 114 これからの英語学習法
D	高校生	※Ｒ３年度からは，過去問を抜粋したＤ問題を発行する。 ※Ｄ部会の活動として，Ｄ問題を作成，発行する。		

２．令和３年度　会議実施

・問題形式や活動方針に関する全体会議	３回（６月，１１月，２月）
・問題作成会議	９回（夏季・冬季休業中）　※９時～ 17 時
・録音および校正会議	６回（録音会議は９月，１０月，２月の土曜日 ／校正会議は各録音会議の３週間後）
・結果検討会議	１回（正答率の低い問題について検討）
・チーフクラス方針会議	３回（必要に応じて随時）

３．問題作成について

2021 年度版 NEW HORIZON では大幅な改訂が行われ、2016 年度版よりも日常会話での頻出表現や、より多彩な場面設定での会話表現が取り上げられています。また、小学校で学んだこと、外部試験の問題形式や県立高校入試問題の変更、ならびに「英語聞き取り」のより自然な場面設定を考慮し、問題作成を行いました。つきましては、以下の変更を実施または予定しました。

・小学校で色を聞き取る練習が十分になされているとみなし、2014 年度より採用していました、Ａの第１回問題のフルカラー印刷は今年度より廃止しました。
・2022 年度よりＡ～Ｃにおいて、問１の問題の繰り返しをしない（１回の聞き取りで回答）とします。
・現行ではＣの第１回では和問英答、第２回、第３回の問４では英問英答ですが、2022 年度より第１回から第３回まで全て英問英答とします。

日頃より、採用いただいている先生方の声、問題作成している部員間での話し合いで、解いて良かったと思っていただける問題づくりに励んでいます。ぜひ、ご意見をいただきたい、また、ぜひ、一緒に問題作りに参加いただき、原案が磨かれ問題ができあがる課程を共有したいと思います。

４．Ｄ問題過去問題集について

Ｈ２７年度から高校生用のＤ問題の発行を中止していましたが、Ｄ問題復活の要望があり、今年度から過去の問題より抜粋し、Ａ～Ｃと同様のテスト形式にて作成しています。ＡＬＴの協力を得て、不自然な表現や場面を改良しながら作成しています。

５．結果検討について

本部会は問題を作るだけでなく、その後に正答率や IDI（上位 25％と下位 25％の正答率の差）の統計を算出し、正答率が低かった問題については部内で検討しています。今年度も３月末に結果検討会議を開き、問題改善に向けて正答率や IDI などのデータをもとに検討会を行ないます。合本については、昨年度と同様に、データは掲載しますが、正答率の低い問題についてのコメントは掲載しません。

６．令和３年度　部員および役割分担

No	名　　前	学校名	問題作成	その他の役割
1	嶋田　晃士	光陽中学校	B	校正・結果検討
2	髙田由紀子	光陽中学校	－	校正・結果検討
3	河合　啓子	明道中学校	A	校正・結果検討
4	笠松　政世	進明中学校	－	校正・結果検討
5	竹澤　沙貴	至民中学校	B	校正アシスタント・アシスタントディレクター・結果検討
6	中島　佑介	灯明寺中学校	C	校正・結果検討
7	ハート真由美	藤島中学校	C	校正チーフ・校正・結果検討
8	河合　　創	大東中学校	C	チーフディレクター・校正・結果検討
9	窪田　聡美	川西中学校	B	校正・結果検討
10	坂本ゆうき	清水中学校	B	校正・結果検討
11	角　　有紗	社中学校	－	校正・結果検討
12	兼井　智加	義務教育学校	C	アナウンサー・校正・結果検討
13	小林　　萌	松岡中学校	－	校正・結果検討
14	藤田　理沙	松岡中学校	B	校正・結果検討
15	山田　恵莉	陽明中学校	A	校正・結果検討
16	鳥山　美季	勝山北部中学校	A	校正・結果検討
17	吉田　広視	金津中学校	A	問題作成チーフ・校正・結果検討
18	坪川　紘子	丸岡中学校	C	校正・結果検討
19	加藤　　修	春江中学校	－	校正・結果検討
20	吉田　莉久	鯖江中学校	B	校正・結果検討
21	佐々木祥子	中央中学校	－	校正・結果検討
22	伊藤　文彦	武生第一中学校	A	問題作成アシスタントチーフ・校正・結果検討
23	木戸美樹子	武生第二中学校	D	Ｄ問題作成・校正・結果検討
24	吉本　美里	武生第三中学校	－	校正・結果検討
25	中村　真士	武生第五中学校	A	アナウンサー・校正・結果検討
26	田嶋　由美	坂井高校	－	校正・結果検討
27	堂埜　真希	福井商業高校	－	校正・結果検討
28	水嶋　崇太	鯖江高校	C	校正・結果検討
29	森　　一生	武生高校定時制	－	校正・結果検討
30	大村　昭友	武生東高校	－	結果検討チーフ・校正・結果検討
31	伊藤美智子	足羽高校	（事務局）	副部長・文書発送等、Ｄ問題作成チーフ
32	野﨑　恵美	高志中学校	（事務局）	副部長・会計等
33	栗田由紀枝	森田中学校	（事務局）	部長

７．放送テスト部員より一言

最初のころはテストの作り方も分からず、会議でも周りの先生方の発言をただ聞いているだけだった放送テスト作成も今年で３年目。少しずついろんなことが分かってきて、会議でも発言できるようになってきました。毎回本当に多くのことを学ばせてもらっています。これからもよろしくお願いします。
（武生第五中学校　中村真士）

作成会議に全然出席できなくて申し訳ありません。
（大東中学校　河合創）

今回はＣ問題作成に参加し、問題文の中の情報量を増やすことなど、役に立つことをいっぱい学べました。これも先輩の先生方と一緒に学べるからです。
（福大附属義務教育学校　兼井智加）

新採用の先生や異動で出会った先生「放送テスト」を紹介し続けて３０年。いいところなので、自信を持って紹介しています。
（坂井高校　田嶋由美）

お世話になります。結果抽出の各学校の先生方、お忙しい中大変ですが、実施後はすみやかにマークカードをご返送願います。また、誤答の多かった問題など、なぜ間違えたのか生徒に聞いていただけると今後の問題作りの参考になります。
（武生東高校　大村昭友）

予定の都合がつかず、会議に出られないことが多く申し訳ありません。他の先生方は校務との調整をどのようにされていますか。
（武生第二中学校　木戸美紀子）

いつもお世話になります。ありがとうございます。
（勝山北部中学校　鳥山美季）

また勉強させていただきます。
（川西中学校　窪田聡美）

流れが分かったので、また、たくさん意見を出していきます！お願いします。
（鯖江中学校　吉田莉久）

原稿命。未習語のチェック、たいへんですがよろしくお願いします。
（光陽中学校　髙田由紀子）

いつも勉強になります。ありがとうございます。
（明道中学校　河合啓子）

問題作成し、会議ではみなさんの意見が聞けて勉強になります。
（松岡中学校　藤田理沙）

今年から新しく入った先生が緊張して会議で発言する様子を見て、自分が初めて会議に参加した頃のことを思い出しました。年齢を重ねるにつれ、英語科以外の仕事も増えてきますが、初々しい先生方にパワーをいただき、教材研究をがんばろう！と思いました。
（中央中学校　佐々木祥子）

参加できる回数が少なく申し訳ありませんが、部員として少しでも貢献できるように頑張ります。
（丸岡中学校　坪川弘子）

問題作成会議は本当に勉強になります。来年度は自分の学校の先生も誘いたいな…と思っています。
（藤島中学校　ハート真由美）

毎回の問題作成会議、校正会議ではいろいろな先生方やＡＬＴとの話し合いでより自然な英語の表現を知ることができ、いつも新鮮な経験ができる、好きな仕事が放送テストです。

今年は部長をさせていただくこととなり、私が部員になったころの懐かしい写真などを目にする機会がありました。かつて一緒に問題作成をさせていただいた先生方、今もお会いすることができる先生方、一緒に活動ができる先生方の写真を拝見し、この部会を通じて多くの先生方と出会い、そのご縁で多くを学ばせていただいたり、放送テスト以外の部分でも関わらせていただいたりしたことが思い出され、感慨深く感じました。

年齢とともに増えるばかりの校務に加え、働き方改革で仕事の内容と効率を見直さなければならない時代のせいか、本当に多忙な毎日です。放送テストの作業が勤務時間外になることも多く、英語科以外の先生などからは、放送テストの業務のあり方に疑問などを持たれる先生方もいらっしゃると思います。しかし、毎年県内全公立中学校に採用していただいていることを考えると、今はまだ続けていきたいと感じます。せめて、少しでも多くの先生方に関わっていただき、一人一人のご負担が少なくなれば、と感じます。少しでも興味をお持ちの先生方、ぜひ、周りの部員の先生方や事務局にご一報ください。
（森田中学校　栗田由紀枝）

広　報　部

部　長　**島　田　敏　宏**（金津高校）

昨年度に引き続き、今年度も広報部の部長を務めさせていただきましたが、まずもって、広報部の活動に御理解・御協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。会員の皆様に興味を持って読んで頂けるような会報を目指し、これからも部員一同誠心誠意取り組んでいく所存です。

『会報』では、継続して「英語科紹介」コーナーで、各校の先生方を紹介させて頂いております。好評を頂いており、引き続き紹介をさせて頂きたいと考えておりますので、依頼があった際には、御協力の程よろしくお願いします。

また、広報部では数年前に英語研究会のホームページをリニューアルし、インターネット上でいつでも会報を見て頂けるように更新しております。こちらも気軽に御活用頂けると幸いです。

最後になりますが、各校英語科主任の先生におかれましては、年度当初のお忙しい折に、会員名簿の作成にご協力頂きまして誠にありがとうございました。次年度以降もお世話になりますがどうかよろしくお願いします。

１．令和３年度事業報告

１）福井県英語研究会会員名簿発行（７月、700 部）

２）『会報』第 80 号発行（2022 年３月、600 部）

３）福井県英語研究会ホームページ管理運営

２．令和３年度広報部員

部　長	島　田　敏　宏（金津高校）
副部長	織　田　昌　宏（大野高校）
部　員	稲　葉　芳　明（勝山高校）
	森　谷　町　子（大野高校）
	川　田　裕　貴（開成中学校）

研　究　部

部　長　**辻　　智　生**（敦賀高校）

各委員会より

（1）リーディングテスト部会

活動内容：リーディングテストA，B，Cを３回分作成（会議は各回につき４回程度）
第１，２回を６月，第３，４回を 10 月，第５，６回を２月にそれぞれ配付

新教科書の導入に合わせて、新しいテーマに関連したリーディング教材を作成した。更に『Let's Read A，B，C』も例年通り改訂を加えた。なお，令和３年度Cの第３回は嶺南リーディングが作成した。どの教材についても、生徒が無理なく読むことが出来るように既習の表現を用いて作成した。３年生であれば１，２年生で使用した旧教科書と３年生で使用している新教科書の語彙を用いている。中学生が興味を持ってスムーズに読み進めることができる良問ができたと自負している。

本年度も新型コロナ感染を防ぐため、会議の持ち方を工夫して取り組んだ一方で、働き方改革を受けて開始時間を早めたり、Email を活用したりしてできる限り会議の実施回数や開催時間が減らせるように取り組んだ。１回目の会議はオンラインで行い、２回目以降は成和中学校の教室などをお借りして、一部屋に１グループが入り距離を保ちながら行うなど工夫をした。今年度も作成委員の確保に苦労したが、委員長の澤田先生をはじめ、参加した先生方の努力のおかげで、生徒の興味関心を引きつけるようなよいテストが完成した。新たに参加してくださった先生方の問題作成の技量も回を重ねるごとに向上し、充実した活動ができたと自負している。

なお、次年度は作成委員の先生方の負担軽減も考え、作成する問題数を減らす予定である。

（2）リサーチ委員会

活動内容：Let's Read for Message の配付

作成委員の確保が難しいことから活動を停止した。冊子版の『Let's Read for Message』については、昨年度作成した英文を加え発刊した。内容はこれまでと変わらず生徒の興味関心を引くようなものであると自負している。なお、リサーチ委員会の発足からこれまでの活動や活動の理念等が、本年度の合本に掲載されている。是非、お読みいただきたい。

（3）ＴＥＦＬ委員会

活動内容：『Bridging』の改訂

中学校教科書の改訂に合わせて Bridging を改訂した。第１回改訂の際に作成した作成の意図、工夫などを参考にしながら、高校に入学する生徒達に何を抑えて欲しいか、何を読ませたいか、もしこの教材を使用して授業をするならばどのような発問をしたいか等を考えながら作成した。メンバーは中学校教員、元中学校教員、高校教員から構成されており、お互いの指導に関する情報・様子を共有しながら活動した。使用している表現は全て新教科書に基づいたものであることから、高校の先生方には是非一度お目通しいただきたい。中学校の教科書や指導の一端がうかがえると思われる。

（4）英語ディベート委員会

本年度は５名で活動している。今年度の研修会や大会も、準備型、即興型ともに全てオンラインで行った。第２回研修会が感染拡大防止のため中止になるなど、様々なトラブルがあったり、時間上の制約から自己紹介の時間をカットするなど余裕を持った運営が出来なかったりしたが、各高校の運営協力者や引率の先生方、ジャッジの皆さんのお陰もあり、無事終了することができた。

各生徒にタブレットが配付されオンラインでの様々な行事が行われるようになり、昨年度と比べて機器面でのトラブルはずいぶんと減った。大会前にはオンラインでの練習試合を行った学校もかなりあったようだ。生徒が英語を使用する機会としてコロナ収束後も是非活用していけたらと考えている。なお、来年度も準備型の全国大会はオンラインで開催されることが決定している。

５～７月　YouTube 視聴を通して、ディベート概論と各役割に関わる研修
７月２５日（日）　第１回オンライン研修会【パーラ】練習試合【アカデ】ジャッジについて
８月　５日（日）　第２回オンライン研修会【パーラ】練習試合【アカデ】練習試合　中止
９月１１日（土）　メイクフレンズカップ　ジャッジミーティング
９月２３日（木）　メイクフレンズカップ in Ｆｕｋｕｉ　運営
１０月１８日（日）【即興型】・【準備型】ともに練習試合
１０月３１日（日）　福井県英語ディベート大会（準備型）
１１月１４日（日）　福井県英語ディベート大会（即興型）

（5）オフィス

働き方改革、教員の多忙化解消のため、会議時間の短縮化、会議の勤務時間中の開催、オンライン会議システムの活用などを行った。一方で、作問能力の向上や，授業実践についての省察，悩み事相談，仲間の輪を広げるなど研究部の活動はたくさんのメリットがある。より多くの先生方にこの仲間に加わって頂くことで活動も活性化される。今まで自分が受けてきた教育と異なる英語教育を求められ、また社会からも、より高度な英語コミュニケーション能力を求められる現在、教員が情報を交換し自分を磨く場としての英語研究会の場は大変貴重である。特に多忙化の中で先輩教員が、後輩の指導に十分にあたる余裕がない現状も学校によってはあるように思う。特に中堅以上の先生方におかれましては、先生方の知識・ノウハウの継承のためにも参加いただきたい。ご興味のある先生方は是非研究部員までご連絡をいただきたい。とはいえ、これまでと同じような活動を進めていくことは困難な状況である。生徒の英語力向上のために、英語教員としての資質向上のためにどのようなことができるか、研究部のあり方を探っていきたい。

（6）令和３年度　研究部部員名簿

研究部（オフィス）		
職	名　前	学　校　名
部　　長	辻　　智生	敦賀高等学校
副 部 長	村　　昭信	三国高等学校

リサーチ委員会		
職	名　前	学　校　名
活動中止		

リーディングテスト委員会（嶺北）		
職	名　前	学　校　名
委 員 長	澤田　亜紀	成和中学校
委　　員	清水　慈昭	足羽高等学校
委　　員	伊藤江莉奈	足羽中学校
委　　員	池上　岳昭	大東中学校
委　　員	和田　　重	灯明寺中学校
委　　員	石田さゆり	殿下中学校
委　　員	谷口　広憲	武生第三中学校
委　　員	佐伯　那菜	明道中学校
委　　員	藤木　　唯	明道中学校
委　　員	齋藤　佑介	仁愛女子高等学校
委　　員	加藤　佑理	足羽中学校
委　　員	源藤　里佳	丸岡中学校
委　　員	高山　大輔	明倫中学校
委　　員	松田　洋佳	足羽第一中学校
委　　員	伊藤　瑛里	進明中学校

ＴＥＦＬ委員会		
職	名　前	学　校　名
委 員 長	大橋　夕紀	若狭高等学校
委　　員	三仙　真也	藤島高等学校
委　　員	百田　忠嗣	松陵中学校
委　　員	本田　涼哉	若狭高等学校
委　　員	山本　由貴	敦賀高校
委　　員	松居　貴昭	若狭東高校

英語ディベート委員会		
職	名　前	学　校　名
委 員 長	辻　　智生	敦賀高等学校
委　　員	三仙　真也	藤島高等学校
委　　員	木下　　弥	奥越明成高等学校
委　　員	笹木　英俊	金津高校
委　　員	松居　貴昭	若狭東高校

リーディングテスト委員会（嶺南）		
職	名　前	学　校　名
委　　員	澤田　更紗	若狭高等学校
委　　員	百田　貴哉	若狭高等学校

◆リーディングテスト委員会

委員長　**澤　田　亜　紀**（成和中学校）

＜委員の先生方の活躍＞

今年度のリーディングテスト委員会は、問題作成者に新たに７名の先生方をお迎えし、スタッフ４名、問題作成者17名（嶺北13名、嶺南３名、兼務１名）、計21名でリーディングテストの作成に取り組みました。時間外になることも多い活動にも関わらず、ご協力してくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。嶺北リーディングテスト委員会では、５月にオンライン会議を実施し、今年度の方針などを話し合いました。校種、地域が様々で接続がうまくいかないこともあり、今後の課題としていきたいです。第一期を５月～８月、その後８月～11月、１月～３月を開催期間とし、３週間から１ヶ月に１回のペースで検討会議を行いました。オンラインでの検討会も行いましたが、チームに分かれて行うこと、互いの原稿を見て画面上で意見を言い合うことの難しさ等、課題が浮き彫りになりました。嶺南リーディングテスト委員会では、９月から12月にかけて、月１回のペースで検討会議を行いました。新しい教科書での問題作成や改訂作業となり、新教科書を読み込みながらの作成ということで、先生方へのご負担も大きかったことと思いますが、会議と会議の間にメールでのやり取りを行い、毎回の検討会議の話し合いをスムーズに行うことができました。

＜リーディングテスト委員会の活動の様子＞

リーディングテスト委員会の検討会議は、グループごと（A：中学１年生、B：中学２年生、C：中学３年生）に分かれ、チーフの先生を中心とし、終始和やかな雰囲気で進められています。どの先生も、書籍やウェブサイト、ご自身の経験などから、生徒が興味を持ちそうなトピックを取り上げ、よりメッセージ性の高い問題を作成してくださっています。できるだけ１人１人の先生方の負担を減らしたい、またできるだけ多くの先生にリーディング委員会に関わっていただきたいという思いで、今年度は３期のうち１期だけ作成、２期だけ作成と、先生方の実情に合わせたスタイルでの問題作成を選択していただきました。

また、すべてのグループに、中学・高校の先生、経験年数の長い・短い先生がおり、様々な視点からお互いの問題を検討し合うことができています。検討会議の場は、校種を超えた貴重な意見交換の場にもなっています。リーディングテスト作成の技術は、英語教員に欠かせません。どの先生方も自己研鑽を兼ねて、リーディングテスト作成に尽力してくださっています。リーディングテスト作成に興味のある方、校種・時期を問わず、いつでも大歓迎です。

＜リーディングテストについて＞

リーディングテストを作成するにあたり大切にしていることは、読み手である生徒に送るメッセージです。生徒に興味を持ってほしいこと、考えてほしいこと、気づいてほしいこと、学んでほしいこと、などを伝えられるような問題作成を心がけています。そして更に、これらのメッセージの読み取りを期待して、設問を作成しています。設問については下のような視点を大切にしています。

- 本文に書かれた情報を整理するもの（語彙や新出の言語材料を理解しているか確認）
- ストーリーの流れを推測するもの（文字情報からその後の流れを推測できるか確認）
- 述べられている状況を絵で選ぶもの（文字情報から場面をイメージできているか確認）
- メッセージを読み取るもの（筆者や登場人物が英文を通して伝えたいことをつかめたか確認）

また、現場で活用しやすくするために、各回のテスト範囲を、できるだけ Unit ごとになるように設定しています。テスト範囲のページ番号を各テストに記載してありますので、授業の進度に合わせて利用しやすくなっています。また、昨年度より「全範囲」というテスト範囲をなくし、テスト範囲をより細かく設定したことで、より使用しやすくなったのではないかと思います。来年度は、作成の先生方の負担軽減を考え、発行回数の削減を検討しております。

＜ Let's Read について＞

リーディングテスト委員会では、過去のテストを冊子にした Let's Read（Ａ～Ｃ）を作成しています。毎年改定を行っており、教科書改訂に伴う新出語句や文法事項の配列、トピックの精選にも気を配っています。旧教科書での作成範囲と新教科書の作成範囲が混在しておりますので、文法配列が新教科書に完全に対応できておりませんが、徐々に移行していきたいと思います。

＜リーディングテスト委員から一言＞

○本年度は、教科書改訂初年度に伴い、今までとは違い、より深い学びを促す問題作成となりました。その中で、この委員会の先生方からたくさんの助言をいただき、全員でよりよいものを作成していくことができたと思います。英語科教員同士のコミュニケーションも活発になるので、非常に有意義な時間を過ごすことができました。（足羽中　伊藤江莉奈）

○教科書が改訂され、新しい題材の元、楽しく問題づくりをしています。もちろん生みの苦しみはありますが、他の先生方と話す中で、より良い表現や新しい視点が見つかることを楽しんでいます。ぜひ多くの先生方に参加して、この楽しみを感じて欲しいと思います。（足羽一中　松田洋佳）

○自分が出したアイデア原稿が、チームの先生方の力でリーディングテストとして出来上がることに達成感を感じています。また、自分が気づかなかった箇所を指摘いただいたり、リーディングテストをより良くするアイデアをいただいたりして、とても参考になりました。ありがとうございました。（丸岡中　源藤里佳）

○今年度は初チーフを任され、今までとは違った視点で参加させてもらっています。他の先生の原稿を今まで以上に見る（読む）ようになり、原稿作成以外の力が付いていっているような気がします。（武生三中　谷口広憲）

○今年で４年目になりますが、毎年色々な先生方と意見を交わしながら問題作成をする中で、沢山学ばせて頂くいい機会になっています。ありがとうございます。（灯明寺中　和田重）

○リーディングテストの作成において、その時々で自分自身が生徒に伝えたいことを題材にしています。中学生に理解できるような表現はどのようなものかを考える時間は楽しいですし、自分自身の勉強になっています。ありがとうございました。（水谷友梨）

○中学生のみなさんに読んで欲しいテーマを考えて問題を作成することが楽しく、大変勉強になります。リーディングテストを通して少しでも沢山のことを知ってもらえると嬉しいです。（若狭高　澤田更紗）

○昨年度に引き続きリーディングテスト委員会に参加させていただきました。２年目になりましたが、今年もたくさんのアドバイスをいただいて、英文や設問作成の方法を勉強させていただきました。ありがとうございました。（足羽中　加藤佑理）

【今年度新メンバーより】

○問題作成を通して、自分自身の英語力を高めるだけでなく、中高の先生方の多様な視点からのアドバイスを頂くことができ、大変勉強になりました。また、小規模校勤務のため他の英語科の先生方との交流が少ない中、リーディング委員会での活動は大変貴重な機会となりましたこと、深く感謝しております。ありがとうございました。（殿下中　石田さゆり）

○リーディング委員会では、問題文や問題作成を通して、様々なことを学ぶことができました。どうやったら生徒たちの思考に沿った問題を作れるか、どのような文章だったら伝えたいことをしっかりと含められるかなど、他の学校の先生方と協力し、作成してきました。いろいろな視点から問題作成に携わることができたことは、自分の英語教員としてのスキル向上に繋がりました。リーディング委員会で学んだことを、現場でも活かしながら、よりよい英語教員を目指していきたいと改めて感じることのできる場所でした。ありがとうございました。（明道中　藤木唯）

○リーディングテスト委員会には今年初めて参加しました。問題作成は簡単なものではありませんでしたが、他の先生方から意見をいただいたり、他の先生方の問題を検討したりするなかで、問題作成について学ぶことができました。ありがとうございました。（進明中　伊藤瑛里）

○今年度から初めて参加させていただきました。これまで何気なく使わせていただいていたLet's Readがどのように作られていたのかを身をもって知り、これまで編纂に関わってくださった先生方に感謝して、十分に活用したいという気持ちが強くなりました。また、1つ１つの読解問題を作る過程で何人もの先生方の意見を定期的にいただいたお陰で、問題作成に関する考えが柔軟になり、引き出しが増えたように感じます。大変ではありましたが、それ以上に得るものがあったので参加して良かったです。（大東中　池上岳昭）

○今年度初めて活動に参加させていただきました。普段お話できない中学校の先生方との活動を通して、中学校での取り組みや教材の扱い方、作問に関する新たな見方など普段高校で勤務しているだけでは得られない貴重な経験をさせていただきました。これらの経験を学校での指導に活かしていきたいと思います。（仁愛女子高校　齋藤佑介）

○実は､｢部会」に所属することに抵抗がありました。しかし､想像以上に学びや経験がありました。私は、同期や知人が極めて少なく、少々心細い思いをしていました。しかし、リーディング部会を通していろいろな先生方と関わることができて、すごく嬉しかったです。リーディングテストの検討が目的ですが、その合間にちょっとした相談や雑談ができて、励みになることがありましたし、気分転換にもなりました。また、教科指導力は、中学校教員にとって一番大切といっても過言ではないと思います。特に、テストを通して生徒の学習意欲や英語力を高めることができたなら、そんなに素晴らしいことはありません。既習表現を駆使していかにおもしろい英文を書くか、また、いかにおもしろい問いを作るか、ということは、とても難しいことです。でも、いろいろな先生方の考えに触れて、「こんな言い方もあるんだ」とか、「こうすればいいのか」と、勉強になることがたくさんありました。（明道中　佐伯那菜）

○今年度より、委員会に参加をさせていただきました。問題を作成するにあたり、これまで自分が気付くことができなかったようなことに多々気付くことができ、大変勉強になりました。

（若狭高　百田貴哉）

◆ＴＥＦＬ委員会

委員長　**大　橋　夕　紀**（若狭高校）

今年度の TEFL 委員会では、中学校の教科書の改訂に伴って「Bridging」の改訂を行いました。「Bridging」教材は、福井県の英語教育を支えてきてくださった多くの先達の先生方の想いと工夫のもと、長年多くの高等学校で採用していただいています。今年度は、中学校の教科書の改訂にあたり、「Bridging」の再編集を行う中で、これまでの特徴を維持しながら、新しい教科書の内容に合わせて一部改変いたしました。ここで、「Bridging」の具体的な特徴をもう一度共有させていただきます。

「Bridging」はその名前のとおり，生徒が高校での英語学習にスムーズに移行するための橋渡しとなることを目標として作られている。本教材は県内の全ての高校で使えるように構成されており，多様な活用法が考えられる。英語が苦手な生徒や実業系の高校の生徒にとっては，「Bridging」の内容が慣れ親しんだ登場人物や英文で構成されているために，高校で新たに使用するテキストより，はるかに英語に対する抵抗感が少なく，親しみをもって基礎固め（中学校の復習）ができると考えられる。また高校の教員の視点からは，中学校の英語の現状を知る手がかりとなると思われる。（「Bridging」高等学校への購入案内文書より）

TEFL 委員会では、このような「Bridging」本来の目的を維持しつつ、時代や状況に合わせて内容を柔軟に変えていくことも必要ではないかと考えています。今年度は、以下のような点を変更し改訂としました。

・Lesson14に仮定法の項目を加える。
・動詞の不規則変化表の一部変更。
・Lesson15の課題英作文を削り、各課において自分について表現する作文問題を増やす。
・新教科書に合わせて、Reading 教材に出てくる登場人物や英単語の種類の変更。
・Reading 内容を、現代社会により合ったものに一部改変。

今後も、「Bridging」がより良いものとなるよう、ご意見等ありましたら、どんなことでも委員もしくは委員長あてにお伝えいただけると幸いです。

TEFL 委員会は嶺南を中心に活動しています。中学校教員と高校教員が自分たちの日常の実践をもとに意見交換し合える場であることが強みです。活動を通して、自らの教育活動をブラッシュアップすると共に、福井県の英語の先生方に少しでも有益な研究内容を報告できればと考えています。

〈2020年度 TEFL 委員会　委員（５０音順）〉

大橋　夕紀（若狭高校）	三仙　真也（藤島高校）	本田　涼哉（若狭高校）
松居　貴昭（若狭東高校）	百田　忠嗣（粟野中学校）	山本　由貴（敦賀高校）